

幕別町国民健康保険
第 2 期
保健事業実施計画
(データヘルス計画)



平成 30 年 3 月
幕別町

目 次

序 章	計画の基本的事項	1
1	計画の背景	1
2	計画の目的	2
3	計画の位置づけ	2
4	計画の期間	2
第1章	現状の整理	3
1	幕別町国民健康保険の特性	3
2	第1期計画に係る考察	7
第2章	医療・健診・介護情報の分析	10
1	医療の状況	10
2	特定健診の状況	20
3	特定保健指導の状況	27
4	介護の状況	28
第3章	分析結果に基づく健康課題の把握	30
第4章	目標	31
1	長期的な目標	31
2	短期的な目標	31
第5章	保健事業の実施内容	33
第6章	計画の評価・見直し・公表等	36
1	計画の評価方法	36
2	計画の見直し	37
3	計画の公表・周知	37
第7章	事業運営上の留意事項	38
1	事業運営上の留意点	38
2	個人情報の保護	38
3	地域包括ケアに関する取り組み	38

序章 計画の基本的事項

1 計画の背景

近年、特定健康診査（以下「特定健診」という。）の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という。）の電子化の進展、[※]国保データベース（ＫＤＢ）システム（以下「ＫＤＢ」という。）等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいます。

こうした中、「日本再興戦略」（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、さらに、国民健康保険法（昭和 33 年法律第 192 号）第 82 条第 4 項の規定に基づき、厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成 16 年厚生労働省告示第 307 号。以下「保健事業実施指針」という。）の一部を改正し、保険者は、健康・医療情報を活用してＰＤＣＡサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定したうえで、保健事業の実施及び評価を行うものとされました。

幕別町国民健康保険においては、レセプト等や統計資料等を活用することにより、「幕別町国民健康保険第 2 期特定健康診査等実施計画」及び「幕別町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定し、保健事業を実施してきたところですが、今後は、更なる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開や、[※]ポピュレーションアプローチから重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことなどが求められています。

※ 国保データベース（ＫＤＢ）システムとは、国民健康保険団体連合会が各種業務を通じて管理している特定健診、医療及び介護等に係る情報に基づき作成した各種統計情報を保険者に提供することで、保険者における効果的かつ効率的な保健事業の実施をサポートするためにつくられたシステムです。ＫＤＢシステムの活用により、これまで実施してきた健康づくりに関するデータ作成が効率化され、地域の現状や健康課題が把握できるだけでなく、統一された指標や基準で国や北海道等とも比較することができます。

※ ポピュレーションアプローチとは、「住民全体を対象とした事業」など、多くの人々が少しずつリスクを軽減することで、住民全体をよい方向へシフトさせ、広く効果が出せる事業手法のことをいいます。

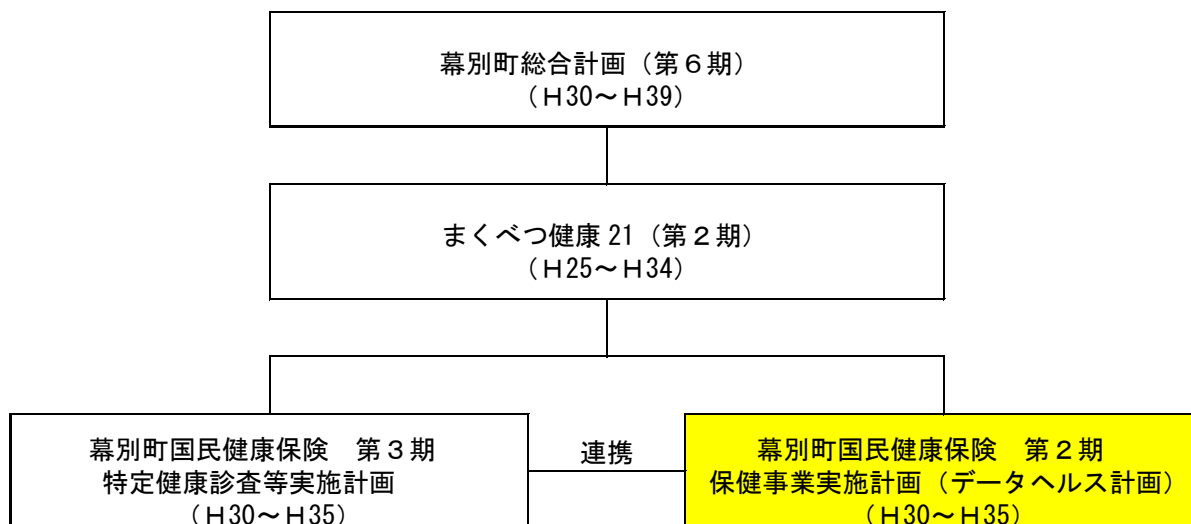
2 計画の目的

幕別町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）は、「保健事業実施指針」に基づき、被保険者の健康の保持増進を図るとともに、個々の被保険者の特性や地域の特性を踏まえた保健事業を効率的かつ効果的に実施することを目的とします。

3 計画の位置づけ

幕別町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）は、「まくべつ健康 21」の基本指針を踏まえるとともに、「幕別町国民健康保険第 3 期特定健康診査等実施計画」等との整合性を図りながら策定します。

（計画の体系）



4 計画の期間

計画の期間は、平成 30 年度から平成 35 年度までの 6 年間とします。

第 1 章 現状の整理

1 幕別町国民健康保険の特性

(1) 幕別町の人口、国民健康保険の被保険者構成

幕別町の人口は、平成 29 年 3 月 31 日（平成 28 年度末）現在で 27,148 人となっており、緩やかに減少する一方で、65 歳以上の高齢者が 8,297 人、高齢化率は 30.6%となっており、年々、高齢化が進んでいることが分かります。

そのなかで、幕別町国民健康保険（以下「幕別町国保」という。）の被保険者数は、7,208 人（幕別町の人口の 26.6%）であり、年齢構成では 65 歳から 74 歳の被保険者が 41.5%を占めており、年々高くなっていることが分かります。

幕別町の人口構成

区分	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		構成比		構成比		構成比
人口	27,596 人	100.0%	27,348 人	100.0%	27,148 人	100.0%
75 歳以上	3,882 人	14.1%	3,998 人	14.6%	4,099 人	15.1%
65～74 歳	4,009 人	14.5%	4,130 人	15.1%	4,198 人	15.5%
40～64 歳	9,376 人	34.0%	9,262 人	33.9%	9,152 人	33.7%
39 歳以下	10,329 人	37.4%	9,958 人	36.4%	9,699 人	35.7%
(再掲) 65 歳以上 (高齢化率)	7,891 人	28.6%	8,128 人	29.7%	8,297 人	30.6%

※幕別町住民基本台帳に基づく人口（各年度 3 月 31 日現在）

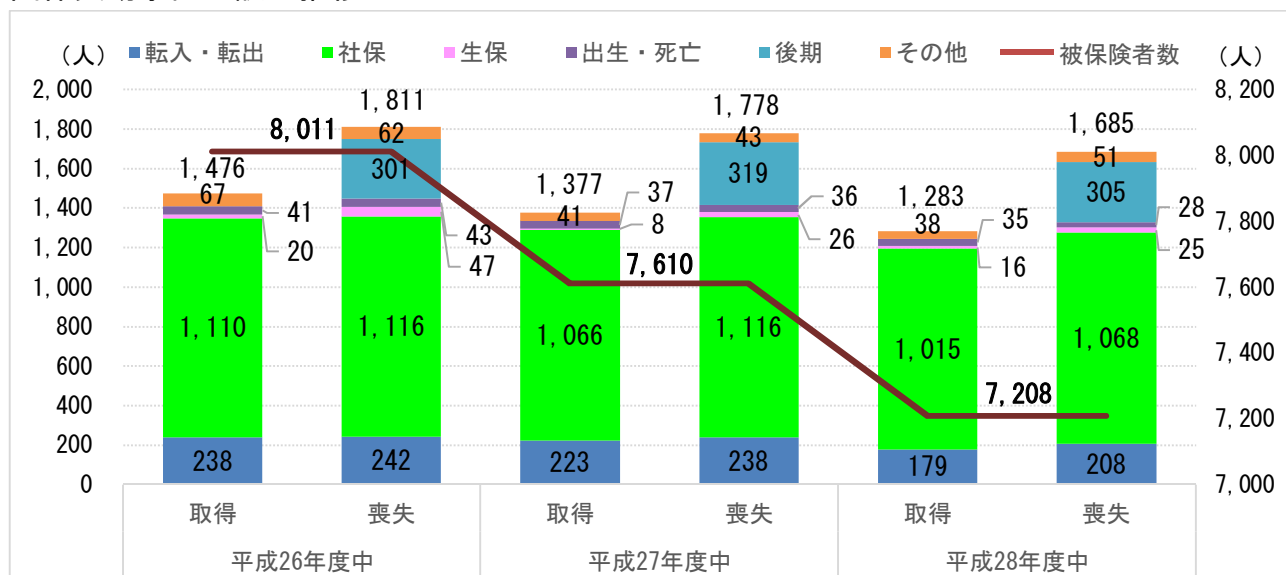
国民健康保険の被保険者構成

区分	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		構成比		構成比		構成比
国保被保険者数	8,011 人	100.0%	7,610 人	100.0%	7,208 人	100.0%
65～74 歳	2,971 人	37.1%	2,990 人	39.3%	2,991 人	41.5%
40～64 歳	2,781 人	34.7%	2,568 人	33.7%	2,381 人	33.0%
39 歳以下	2,259 人	28.2%	2,052 人	27.0%	1,836 人	25.5%
(再掲) 65 歳以上 (高齢化率)	2,971 人	37.1%	2,990 人	39.3%	2,991 人	41.5%

※国民健康保険事業年報（各年度 3 月 31 日現在）

過去３年間の国保異動事由の内訳を見ると、被保険者数の減少の大きな理由としては、75歳に到達する被保険者が幕別町国保から後期高齢者医療制度へ移行することにより、毎年一定数以上の被保険者が資格喪失していると考えられます。

国保異動事由内訳と推移



※国民健康保険事業年報（各年度３月３１日現在）

次に居住地域別に見ると、札内地域に６割以上、続いて、幕別地域に３割、忠類地域に１割程度の被保険者が占めていることが分かります。

さらに、年齢階層別に見ると、幕別・忠類地域では64歳以下の被保険者数の割合が高く、札内地域では65歳から74歳の被保険者数の割合が高くなっていることが分かります。

居住地域別被保険者構成（平成28年度）

区分	幕別地域	札内地域	忠類地域	その他	計
国保被保険者数	2,192 人	4,371 人	570 人	75 人	7,208 人
	(30.4%)	(60.7%)	(7.9%)	(1.0%)	(100.0%)
	850 人	1,922 人	215 人	4 人	2,991 人
	(38.8%)	(44.0%)	(37.7%)	(5.3%)	(41.5%)
	767 人	1,415 人	182 人	17 人	2,381 人
	(35.0%)	(32.3%)	(31.9%)	(22.7%)	(33.0%)
39歳以下	575 人	1,034 人	173 人	54 人	1,836 人
	(26.2%)	(23.7%)	(30.4%)	(72.0%)	(25.5%)

※国保総合システム（平成29年3月31日現在）

※「その他」は、住所地特例（施設等入所者）、修学地特例、遠隔地特例に該当

※国保被保険者数の下段に掲載した割合は、被保険者全体に占める割合

※各年齢階層別の下段に掲載した割合は、各地域別に占める割合

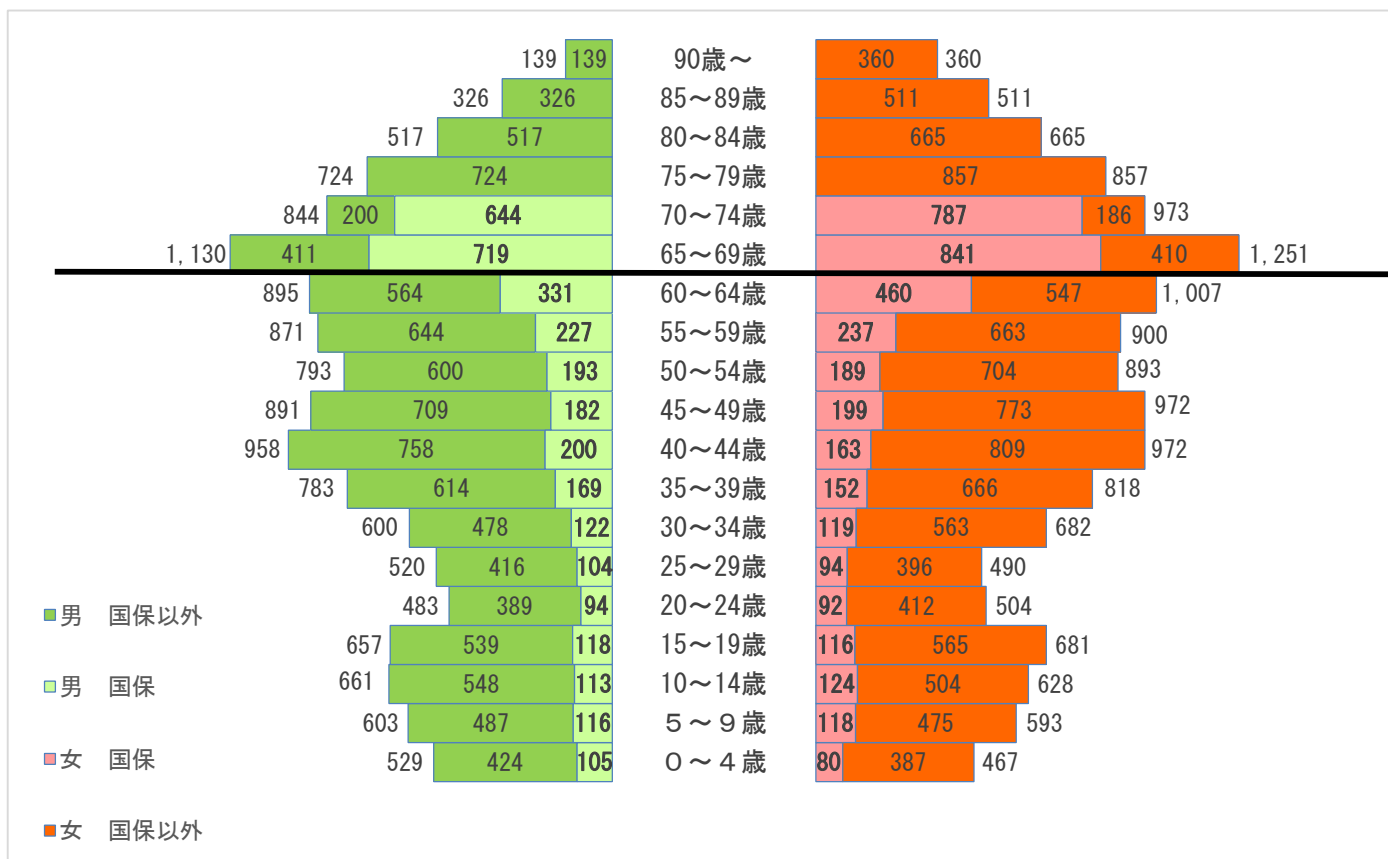
また、年齢階層別・男女別人口に占める被保険者数（人口ピラミッドグラフ）を見ても、年齢階層が高くなるにつれて被保険者が占める割合は高くなっており、特に 65 歳以上の割合が高い状況が鮮明に表れています。

年齢階層別・男女別人口に占める被保険者数（人口ピラミッドグラフ）

（平成 29 年 3 月 31 日現在）

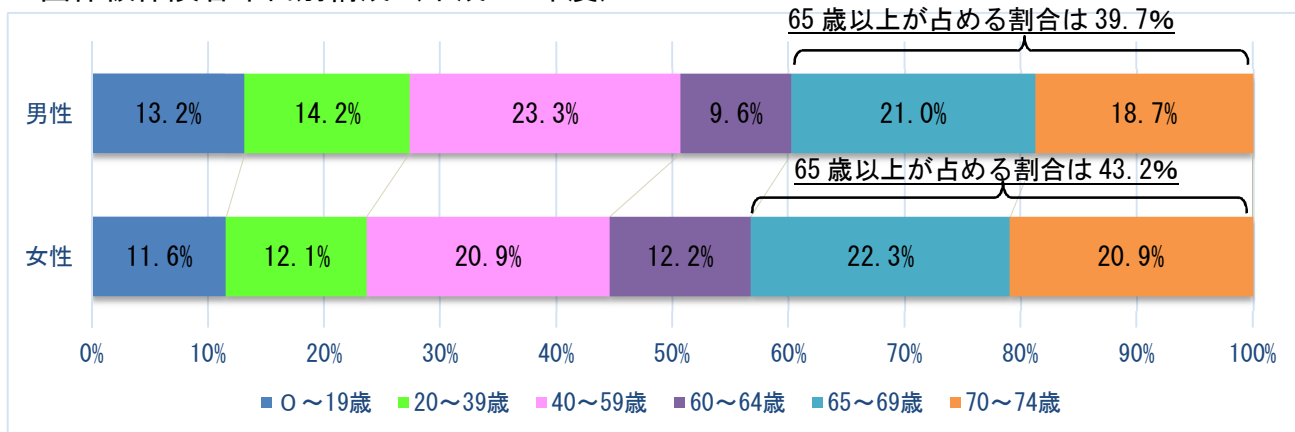
（男性） 人口：12,924 人
被保険者数：3,437 人

（女性） 人口：14,224 人
被保険者数：3,771 人



※国保総合システム

国保被保険者年代別構成（平成 28 年度）



※国保総合システム（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(2) 幕別町の死亡の状況

幕別町における平成 28 年度の死亡の状況では、がん、心臓病及び脳疾患によって死亡する割合が 90%を超えており、特に心臓病によって死亡する割合は、いずれの年度も国及び北海道より高い傾向が見られます。

死亡の状況

(単位: %)

死 因	平成 26 年度			平成 27 年度			平成 28 年度		
	幕別町	北海道	国	幕別町	北海道	国	幕別町	北海道	国
が ん	45.9	50.3	48.3	39.9	50.8	49.0	54.8	51.6	49.6
心臓病	27.9	26.2	26.6	33.2	26.1	26.4	29.0	25.9	26.5
脳疾患	16.9	14.1	16.3	15.5	13.7	15.9	9.1	13.5	15.4
糖尿病	1.7	1.9	1.9	1.6	1.9	1.9	1.1	1.8	1.8
腎不全	5.2	4.2	3.4	5.2	4.4	3.4	2.2	4.2	3.3
自 殺	2.3	3.3	3.5	4.7	3.1	3.5	3.8	3.0	3.3

※KDB 地域の全体像の把握（各年度累計）

2 第1期計画に係る考察

(1) 第1期計画の目標に対する評価

第1期計画では、抽出した課題に基づき目標を設定し、平成27年度から平成29年度の保健事業における実施計画を策定しました。

目標1 特定健診受診率の向上

指標	年度	目標値	実績
特定健診受診率 (法定報告値)	平成27年度	50%	27.7%
	平成28年度	55%	29.0%
	平成29年度 (見込み)	60%	30.9%

特定健診費用に要する自己負担額の無料化を平成27年度に実施し、特定健診の周知を図るため、新聞等の折り込みチラシ配布、まくべつ健康フェスタでのPRを行いました。

また、受診勧奨として、40歳及び65歳を対象に受診勧奨文書送付、前年度受診者への電話勧奨を実施しました。

さらに、特定健診アンケート調査を平成27年度に実施し、平成28年度から個別健診の委託先を拡大するなど受診しやすい環境づくりに取り組みましたが、平成28年度実績では29.0%と目標値を大きく下回る結果となっています。

目標2 BMI 25以上の肥満者の減少

指標	年度	目標値	実績
特定健診結果 における BMI 25以上の率	平成27年度	—	男性 34.2% 女性 22.1%
	平成28年度	—	男性 35.1% 女性 21.6%
	平成29年度 (見込み)	男性 30%以下 女性 20%以下	男性 37.3% 女性 22.7%

肥満解消のため健康づくり講座（スタイルアップ教室、太極拳、ウォーキングなど）にて運動習慣の定着を促し、体育館等の健康教室で継続的な運動の場を提供しました。

また、特定健診後の結果説明会や健康相談、家庭訪問等で栄養指導を実施しましたが、平成28年度実績では男性35.1%、女性21.6%と目標値に達しない結果となっています。

目標 3 保健指導実施率の向上

指標	年度	目標値	実績
特定保健指導 実施率 (法定報告値)	平成 27 年度	—	35.4%
	平成 28 年度	—	46.9%
	平成 29 年度 (見込み)	60%	55.1%

特定健診後の結果説明会や健康相談、家庭訪問等で町保健師・管理栄養士による特定保健指導を実施する以外に、人間ドック受診後の特定保健指導を委託しました。

また、北海道国民健康保険団体連合会の保険者支援事業である保健師派遣事業の活用を図りましたが、平成 28 年度実績では 46.9%と目標値を下回る結果となっています。

目標 4 医療費適正化等の促進

指標	年度	目標値	実績
医療費の 適正化等を 促進する ための取組	平成 29 年度	推進体制 の構築	○まくべつ健康ポイントラリー （北海道健康マイレージ）を実施 ○医療費通知を年 6 回送付 ○ジェネリック医薬品を使用した 場合の差額通知を年 4 回送付

まくべつ健康ポイントラリーを実施し、特定健診の受診や健康づくり講座の参加を推進する体制の構築を図りました。

また、医療費や健康意識への関心を高めることを目的に、医療費通知を全被保険者に年 6 回送付し、ジェネリック医薬品を使用した場合の差額通知を年 4 回送付しました。

しかし、重複・頻回受診者への指導体制の構築については、対象者の実態把握など、十分な対応ができていないところであります。

(2) 第1期計画の課題に対応した保健事業に対する評価

	実施事業	事業概要	対象者	平成28年度実績
受診率向上対策	特定健診費用に要する自己負担額の無料化	40歳及び70歳以上に加え、41歳から69歳についても特定健診に要する自己負担額を無料化	特定健診対象者	平成27年度実施
	未受診者への受診勧奨の強化	未受診者（毎年継続して受診していない方を含む。）への通知や電話等による個別の受診勧奨の徹底及び強化	特定健診対象者のうち、未受診者または毎年継続して受診していない方	新聞等の折り込みチラシ配布やまくべつ健康フェスタでの健診PR、40歳及び65歳を対象に受診勧奨文書を送付、前年度受診者への電話勧奨等を実施 電話による受診勧奨 114人中58人受診
		受診率の低い40歳代と60歳代に向けて、世代に合わせた受診勧奨方法の研究と徹底		
		医療機関との連携を図り、治療中を理由とした未受診者への勧奨を強化		
	特定健診アンケート調査の実施	受診しやすい環境づくりに向けて、健診対象者の健診に対する意向等を把握するためのアンケート調査を実施（未受診理由の把握・分析含む。）	特定健診対象者	平成27年度実施 （平成28年度から個別健診の委託先を拡大）
生活習慣改善対策	健康づくり講座	生活習慣の振り返りと運動のきっかけづくりを目的とした講座を開催	対象年齢の町民	247人
	からだ読み解き講座（健診事後教室）	特定健診の事後指導教室の位置づけで、生活習慣改善を目的として教室を開催	特定健診受診者	延べ30人
生活習慣病予防・医療費適正化対策	まくべつ健康ポイントラリー（北海道健康マイレージ）	健康づくりに対する意識の高揚と実践を促すため、健診等の受診者へポイントを付与	20歳以上の町民	（北海道健康マイレージ） 申請者59人 達成者50人
	医療費通知の送付	医療費や健康意識への関心を高めることを目的に個別に通知	全被保険者	年6回実施 延べ20,271人に送付
	ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品を使用した場合の差額通知を年4回に拡大するとともに、通知後の追跡及び分析による医療費の削減効果等を把握	全被保険者	年4回実施 延べ784人に送付
	がん検診	がんの早期発見及び早期治療を目的とした検診を実施	対象年齢の町民	7,431人
	人間ドック事業	疾病予防のための人間ドックを実施し、受診者が負担する費用の一部を助成	40歳以上の町民	824人
	脳ドック事業	疾病予防のための脳ドックを実施し、受診者が負担する費用の一部を助成	40歳以上の町民	141人
	重複・頻回受診者への指導体制の構築	対象者の実態把握を行い、医療費軽減に向けた保健指導体制を構築	重複・頻回受診者に該当する方	未実施

これまでの保健事業の取組において、特定健診の受診率は徐々に向上しているが目標値には程遠いため、受診率を上げるための取組が最優先課題です。

このため、特定健診における未受診者及び不定期受診者への受診勧奨を強化し、受診しやすい環境づくりを含めた特定健診のあり方を検討する必要があります。

医療費通知やジェネリック医薬品の使用促進に向けた差額通知については、医療費削減効果が見られたので、今後も継続して実施すべき取組であると捉えています。

また、これまで十分な対応ができていない重複・頻回受診者の実態把握や糖尿病性腎症重症化予防などについて、今後の取組が求められるところです。

第2章 医療・健診・介護情報の分析

1 医療の状況

(1) 一人当たりの総医療費

幕別町国保における一人当たりの総医療費は、北海道より下回っているものの、全国に比べて上回っている状況です。

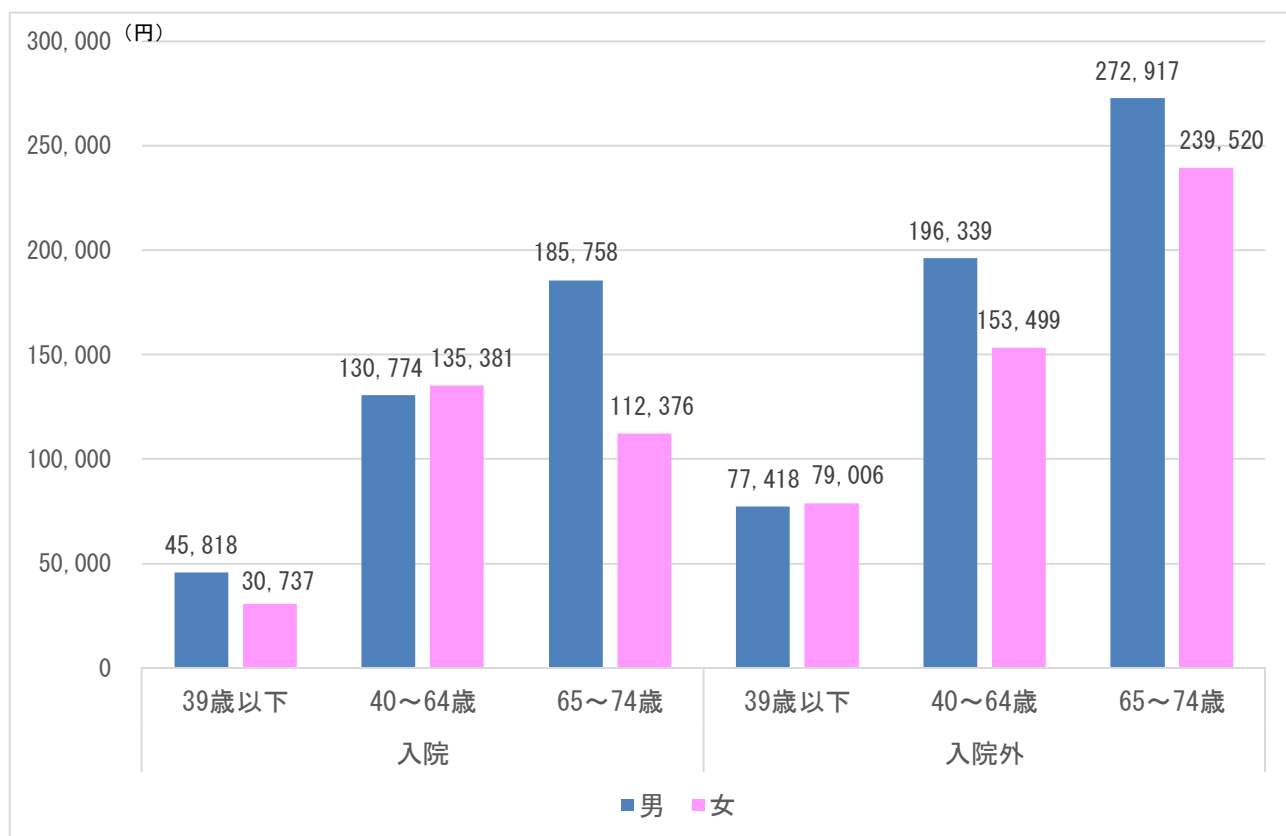
次頁に記載している年齢階層別一人当たりの総医療費を見ると、年齢階層が高くなるにつれて入院・入院外ともに増加していることが分かります。

また、男女別に見ると、男性の方が入院・入院外ともに概ね高い傾向が見られ、40歳以上から大きく増加していることが分かります。

区 分		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
幕別町国保の総医療費		2,238,936 千円	2,274,149 千円	2,143,389 千円
幕別町国保の被保険者数		8,011 人	7,610 人	7,208 人
国保における 一人当たりの 総医療費	幕別町	279,483 円	298,837 円	297,362 円
	北海道	322,767 円	339,422 円	340,491 円
	国	278,858 円	296,055 円	297,249 円

※KDB 疾病別医療費分析（大分類）（各年度累計）

平成 28 年度 幕別町国保における年齢階層別一人当たりの総医療費

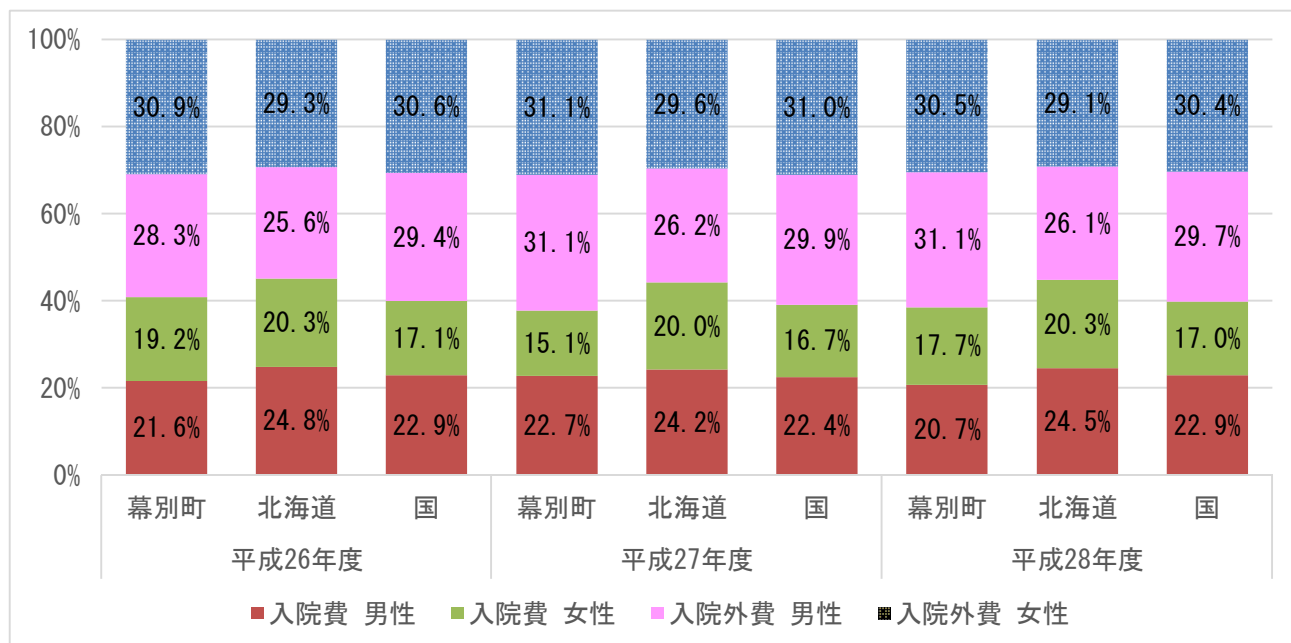


※ K D B 疾病別医療費分析（大分類）（平成 28 年度累計）

区分	幕別町			北海道			全国		
	入院	入院外	計	入院	入院外	計	入院	入院外	計
一人あたり医療費	114,301	183,061	297,362	152,457	188,034	340,491	118,512	178,737	297,249
男	129,319	194,149	323,468	180,741	192,439	373,180	139,158	180,997	320,155
女	100,613	172,956	273,569	128,247	184,264	312,511	98,813	176,581	275,394
65～74歳	145,816	254,739	400,555	207,592	256,660	464,252	177,866	269,022	446,888
男	185,758	272,917	458,675	265,275	274,080	539,355	223,757	285,742	509,499
女	112,376	239,520	351,896	164,102	243,526	407,628	138,691	254,791	393,482
40～64歳	133,189	173,884	307,073	159,572	185,642	345,214	118,899	168,917	287,816
男	130,774	196,339	327,113	188,412	195,258	383,670	138,574	171,868	310,442
女	135,381	153,499	288,880	134,481	177,277	311,758	99,516	166,010	265,526
39歳以下	38,467	78,192	116,659	49,732	75,493	125,225	37,477	67,882	105,359
男	45,818	77,418	123,236	50,611	72,483	123,094	37,409	64,708	102,117
女	30,737	79,006	109,743	48,823	78,608	127,431	37,550	71,272	108,822

(2) 入院・入院外別医療費

幕別町国保の総医療費に占める入院と入院外に係る総医療費の割合は、平成 28 年度で見ると入院は 38.4%、入院外は 61.6%となっており、北海道や国と比較して入院外に係る医療費の占める割合が高くなる傾向が見られます。

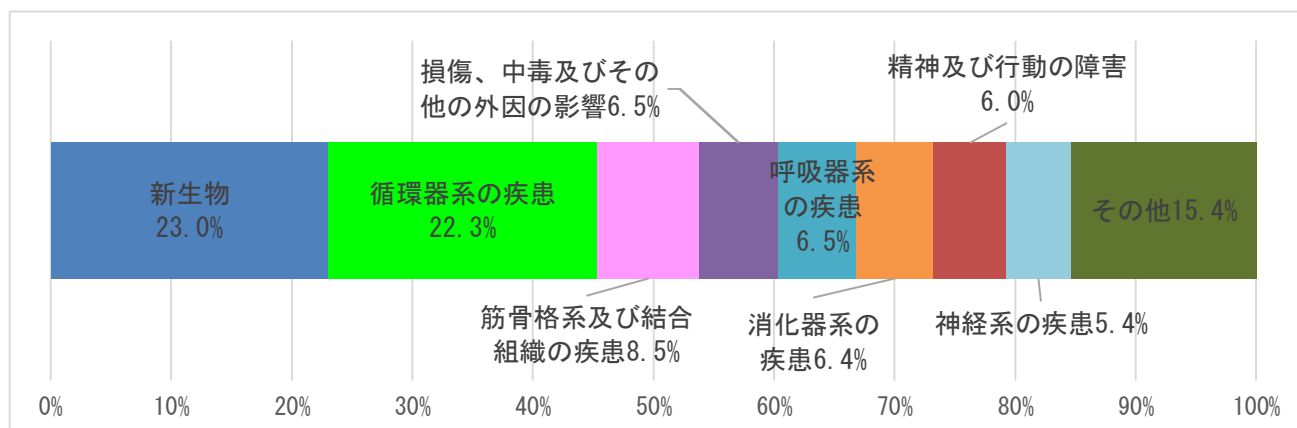


※ K D B 疾病別医療費分析（大分類）（平成 28 年度累計）

(3) 疾病分類別医療費

① 入院

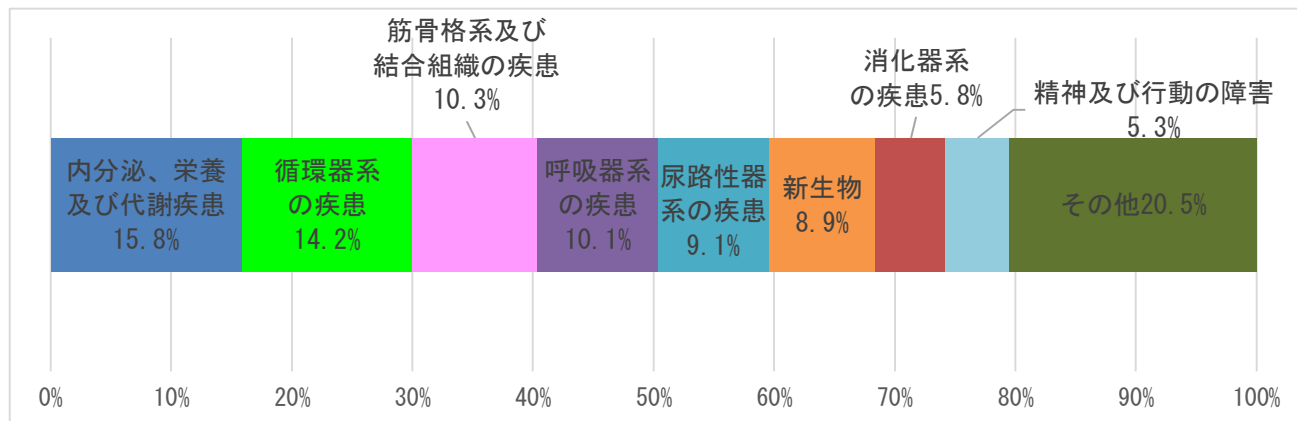
平成 28 年度の幕別町国保において、入院に係る総医療費を疾病分類別で見ると、大分類別では、「新生物」が 23.0%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」の順となっています。



※KDB 疾病別医療費分析（大分類）（平成 28 年度累計）

② 入院外

平成 28 年度の幕別町国保において、入院外に係る総医療費を疾病分類別で見ると、大分類別では、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が 15.8%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「呼吸器系の疾患」の順となっています。



※KDB 疾病別医療費分析（大分類）（平成 28 年度累計）

(4) 年齢階層別細小分類医療費

① 入院

平成 28 年度の幕別町国保において、入院に係る医療費を年齢階層別細小分類で見ると、男性では、全ての年齢階層で脳梗塞が高い結果となっています。女性では、関節疾患や骨折に係る医療費が高くなる結果となっています。

年齢階層別細小分類医療費（上位 5 位）（平成 28 年度）（入院【男性】）

	39 歳以下		40～64 歳		65～74 歳		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
1	統合失調症	5.1%	脳梗塞	9.3%	脳梗塞	14.4%	脳梗塞	11.7%
2	脳梗塞	3.8%	脳出血	8.5%	狭心症	9.0%	狭心症	7.5%
3	骨折	3.5%	狭心症	7.2%	肺がん	5.9%	脳出血	5.0%
4	糖尿病	2.4%	統合失調症	7.0%	脳出血	3.7%	肺がん	3.6%
5	肺炎	0.8%	慢性腎不全 (透析あり)	3.5%	骨折	3.7%	骨折	3.2%

※KDB 疾病別医療費分析（細小分類）（平成 28 年度累計）

年齢階層別細小分類医療費（上位 5 位）（平成 28 年度）（入院【女性】）

	39 歳以下		40～64 歳		65～74 歳		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
1	子宮頸がん	5.2%	脳出血	5.6%	骨折	6.6%	関節疾患	5.3%
2	統合失調症	4.2%	関節疾患	5.5%	肺がん	5.8%	脳出血	4.0%
3	膵臓がん	3.3%	腎炎・ ネフローゼ	4.6%	関節疾患	5.7%	骨折	4.0%
4	骨折	2.8%	卵巣腫瘍 (悪性)	4.5%	パーキンソン病	3.2%	肺がん	3.4%
5	腸閉塞	2.0%	子宮頸がん	4.1%	脳出血	3.2%	パーキンソン病	3.4%

※KDB 疾病別医療費分析（細小分類）（平成 28 年度累計）

② 入院外

平成 28 年度の幕別町国保において、入院外に係る医療費を年齢階層別細小分類別で見ると、男性・女性ともに、糖尿病や高血圧症に係る医療費が高くなる結果となっています。

年齢階層別細小分類医療費（上位 5 位）（平成 28 年度）（入院外【男性】）

	39 歳以下		40～64 歳		65～74 歳		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
1	うつ病	6.3%	慢性腎不全 (透析あり)	19.0%	糖尿病	12.4%	糖尿病	11.2%
2	潰瘍性腸炎	4.1%	糖尿病	12.1%	高血圧症	10.6%	慢性腎不全 (透析あり)	9.2%
3	統合失調症	3.7%	統合失調症	6.0%	慢性腎不全 (透析あり)	5.2%	高血圧症	7.9%
4	気管支喘息	2.6%	高血圧症	5.8%	脂質異常症	4.6%	脂質異常症	4.0%
5	糖尿病	2.4%	大腸がん	4.4%	不整脈	3.5%	大腸がん	3.1%

※KDB 疾病別医療費分析（細小分類）（平成 28 年度累計）

年齢階層別細小分類医療費（上位 5 位）（平成 28 年度）（入院外【女性】）

	39 歳以下		40～64 歳		65～74 歳		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
1	うつ病	5.2%	関節疾患	9.7%	高血圧症	9.9%	糖尿病	8.0%
2	統合失調症	4.1%	糖尿病	7.2%	糖尿病	9.6%	高血圧症	8.0%
3	気管支喘息	3.8%	高血圧症	6.8%	脂質異常症	8.4%	関節疾患	7.1%
4	糖尿病	1.3%	慢性腎不全 (透析あり)	6.2%	関節疾患	7.0%	脂質異常症	6.7%
5	インフルエンザ	0.7%	脂質異常症	5.5%	骨粗しょう症	5.7%	気管支喘息	4.0%

※KDB 疾病別医療費分析（細小分類）（平成 28 年度累計）

年齢階層別細小分類医療費（上位 10 位）（平成 28 年度）（入院＋入院外）

	男性		女性		全体	
		構成比		構成比		構成比
1	糖尿病	7.1%	関節疾患	6.4%	糖尿病	6.2%
2	慢性腎不全 （透析あり）	6.1%	糖尿病	5.3%	高血圧症	4.9%
3	脳梗塞	5.3%	高血圧症	5.1%	慢性腎不全 （透析あり）	4.3%
4	高血圧症	4.7%	脂質異常症	4.2%	関節疾患	4.2%
5	狭心症	3.9%	気管支喘息	2.8%	脂質異常症	3.3%
6	統合失調症	2.7%	骨粗しょう症	2.7%	脳梗塞	3.1%
7	脂質異常症	2.4%	慢性腎不全 （透析あり）	2.3%	統合失調症	2.4%
8	大腸がん	2.4%	乳がん	2.1%	狭心症	2.3%
9	関節疾患	2.2%	統合失調症	2.1%	肺がん	2.1%
10	肺がん	2.1%	うつ病	2.1%	気管支喘息	2.0%

※KDB 疾病別医療費分析（細小分類）（平成 28 年度累計）

(5) 高額な医療費のかかる疾病

平成 28 年度の幕別町国保において、高額なレセプト（月 80 万円以上の医療費がかかっているもの）は 350 件あり、医療費総額にして約 4 億 4 千万円になります。

このうち、高額な医療費がかかる疾病を主病名別に見ると、循環器系の疾患が多く、特に虚血性心疾患の一件当たりの医療費が高額となっています。

高額レセプト（月 80 万円以上）の状況（平成 28 年度）

	高額レセプト	主な基礎疾患		主な循環器疾患	
		高血圧症	糖尿病	虚血性心疾患	脳血管疾患
レセプト件数	350 件	162 件	74 件	32 件	87 件
費用額	4 億 4,002 万円	2 億 29 万円	9,610 万円	5,026 万円	1 億 587 万円
一件当たり 費用額	126 万円	124 万円	130 万円	157 万円	122 万円

※KDB 厚生労働省様式 1-1（平成 28 年度累計）

(6) 人工透析患者の状況

平成 29 年 5 月診療での人工透析患者は 18 人で、医療費は約 1,012 万円となっています。そのうち、糖尿病性腎症の疾患がある人は 11 人で、医療費は約 689 万円となっています。

一人当たりの医療費を比べても、糖尿病性腎症の疾患がある人の方が高額となっています。

糖尿病性腎症による人工透析新規導入を予防することは医療費を抑制することに繋がることが分かります。

人工透析患者の状況

	人数	医療費	一人当たりの医療費
人工透析患者	18 人	10,116,120 円	562,007 円
うち糖尿病性腎症あり	11 人	6,886,390 円	626,035 円
うち糖尿病性腎症なし	7 人	3,229,730 円	461,390 円

※KDB 厚生労働省様式 2-2 (平成 29 年 7 月作成 (5 月診療分))

じん臓機能障害（人工透析療法）で身体障害者手帳を新規に取得した人のうち、国保被保険者は平成 26 年度から平成 28 年度までで 15 人となっています。

そのうち、糖尿病性腎症が原因で人工透析を新規導入した人は 10 人で、約 7 割が糖尿病性腎症によることが分かります。

人工透析導入により、日常生活の制限や通院治療の負担が大きく、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の低下をもたらします。

早期に糖尿病の重症化予防に取り組むことが必要であると言えます。

糖尿病性腎症による人工透析新規導入者（国保被保険者分）

調査年度	じん臓機能障害（人工透析療法）による 身体障害者手帳の新規取得者数（国保被保険者分）	
		うち糖尿病性腎症が原因で 人工透析を新規導入した人
平成 26 年度	3 人	2 人
平成 27 年度	7 人	4 人
平成 28 年度	5 人	4 人
計	15 人	10 人

※幕別町調査

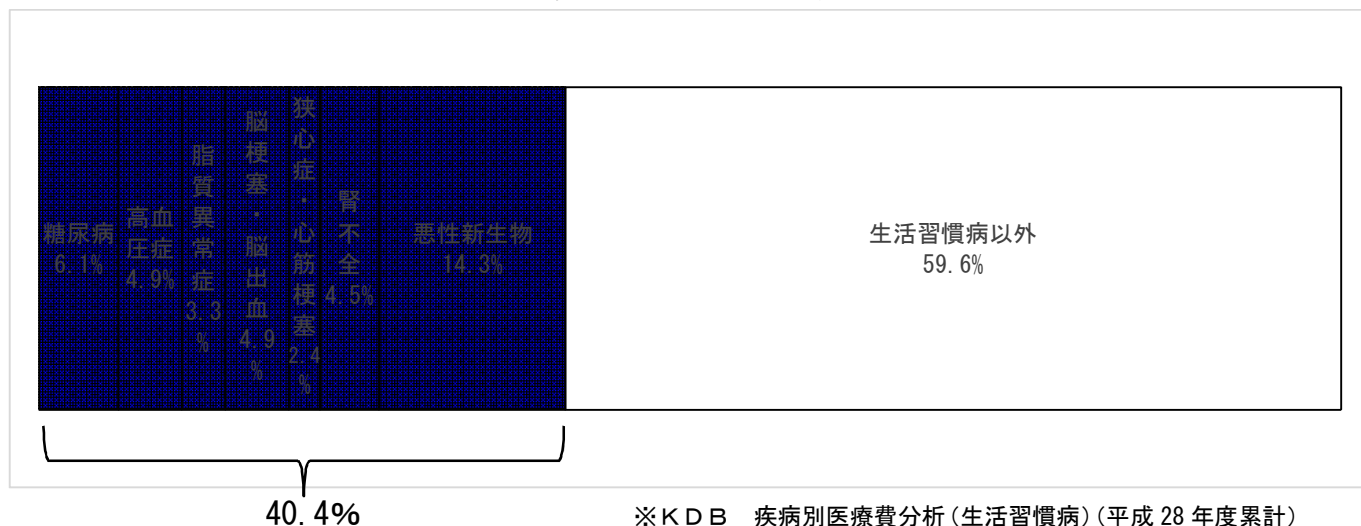
(7) 生活習慣病の占める割合

KDBによる平成 28 年度の幕別町国保の総医療費において、生活習慣病の占める割合は 40.4%となっています。

このうち、「糖尿病」や「高血圧症」、「脂質異常症」を主な基礎疾患、「脳梗塞」や「虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）」、「腎不全」を主な重症化疾患と分類し、総医療費とレセプト件数、1 件当たりの医療費について分析すると、総医療費では糖尿病が最も高くなっている一方で、主な基礎疾患のレセプト件数はいずれも多く、特に高血圧症のレセプト件数が最も多いことが分かります。

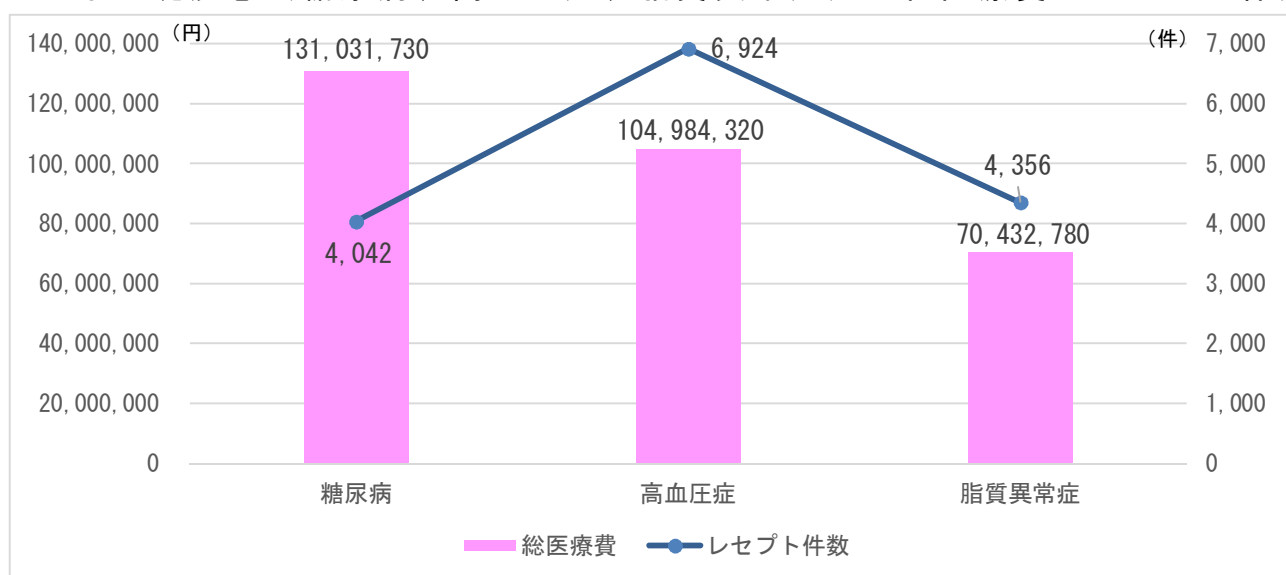
また、1 件当たりの医療費では主な重症化疾患はいずれも高く、特に腎不全の 1 件当たりの医療費が最も高くなっていることが分かります。

平成 28 年度 幕別町国保の総医療費に占める生活習慣病の割合



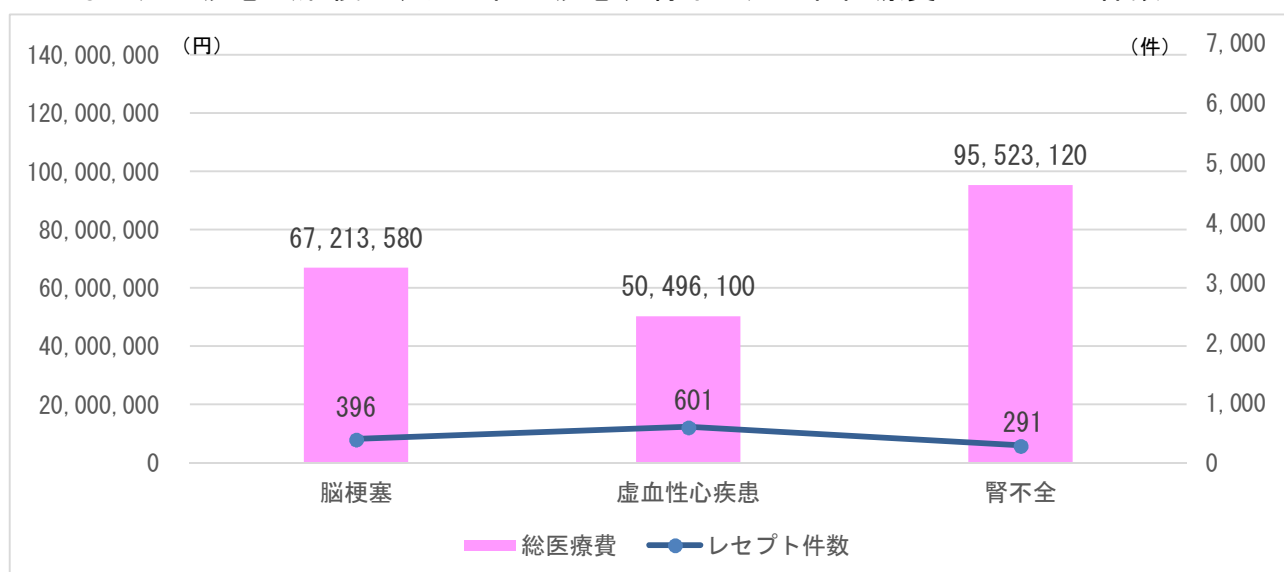
※KDB 疾病別医療費分析（生活習慣病）（平成 28 年度累計）

主な基礎疾患（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）の総医療費とレセプト件数



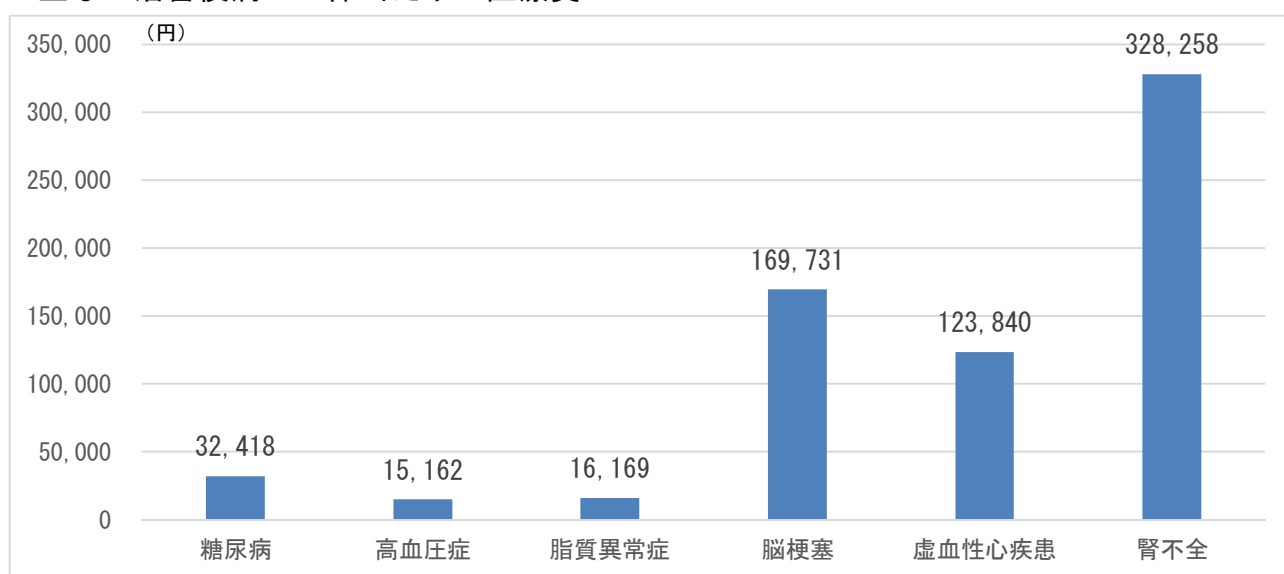
※KDB 疾病別医療費分析（生活習慣病）（平成 28 年度累計）

主な重症化疾患（脳梗塞、虚血性心疾患、腎不全）の総医療費とレセプト件数



※KDB 疾病別医療費分析（生活習慣病）（平成28年度累計）

主な生活習慣病の1件当たりの医療費



※KDB 疾病別医療費分析（生活習慣病）（平成28年度累計）

2 特定健診の状況

(1) 特定健診の受診率

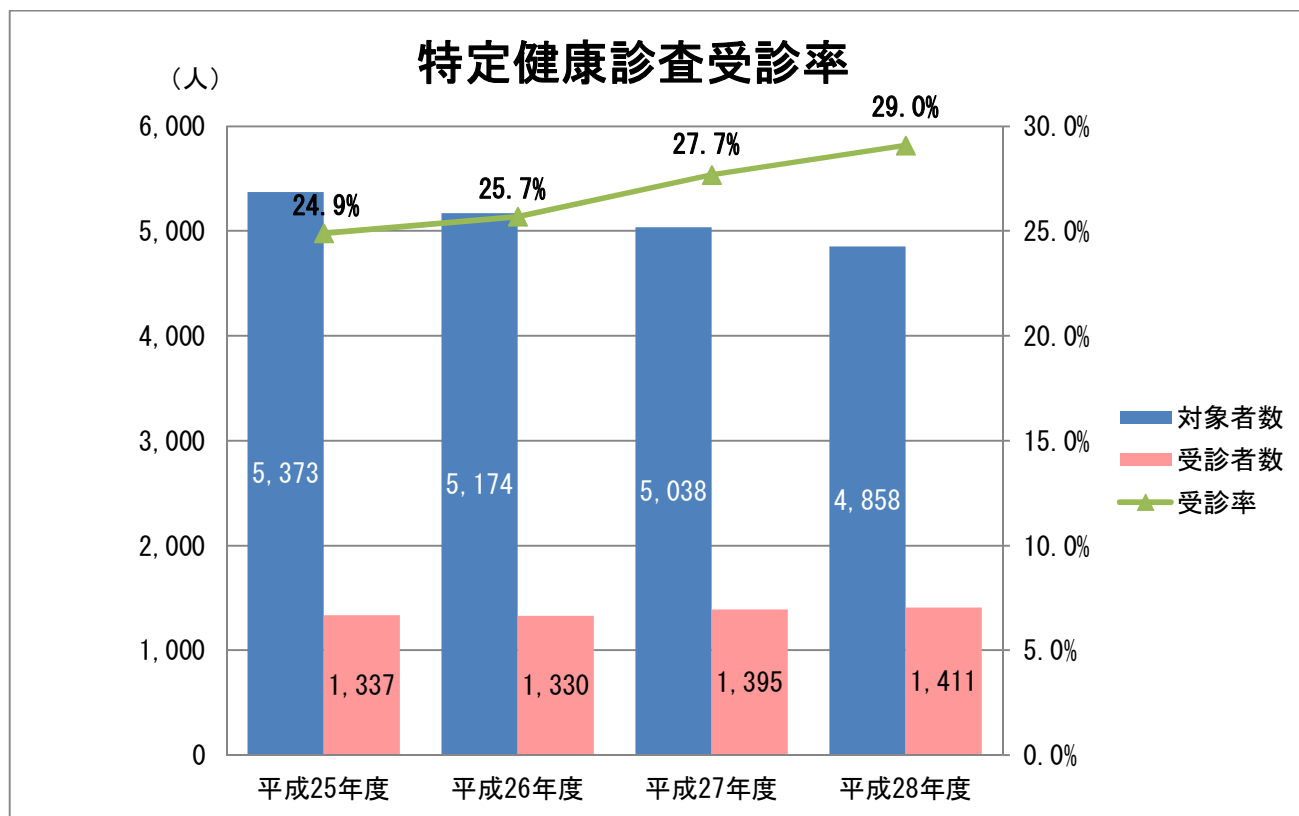
幕別町国保における特定健診の受診率は、平成 25 年度から平成 28 年度まで年々増加していますが、幕別町国民健康保険特定健康診査等実施計画で定める目標値に到達していない状況です。

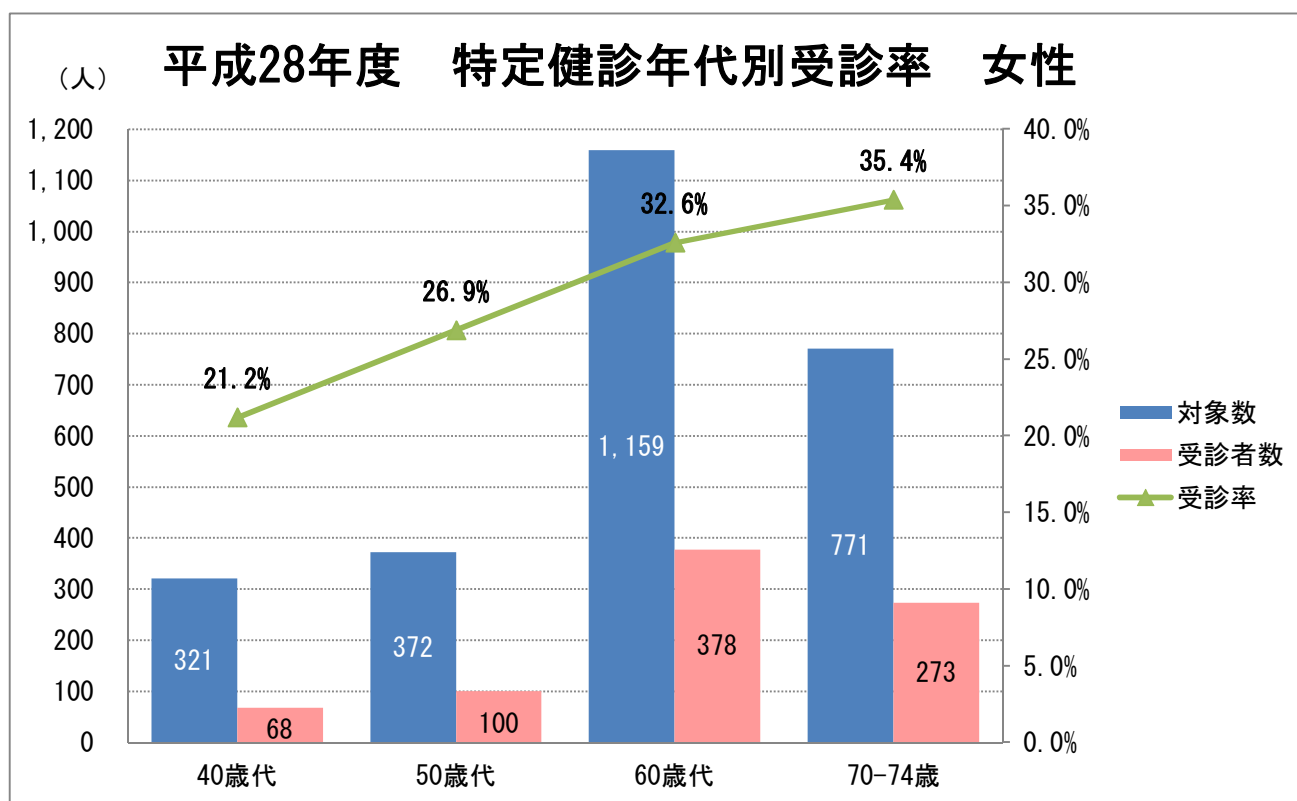
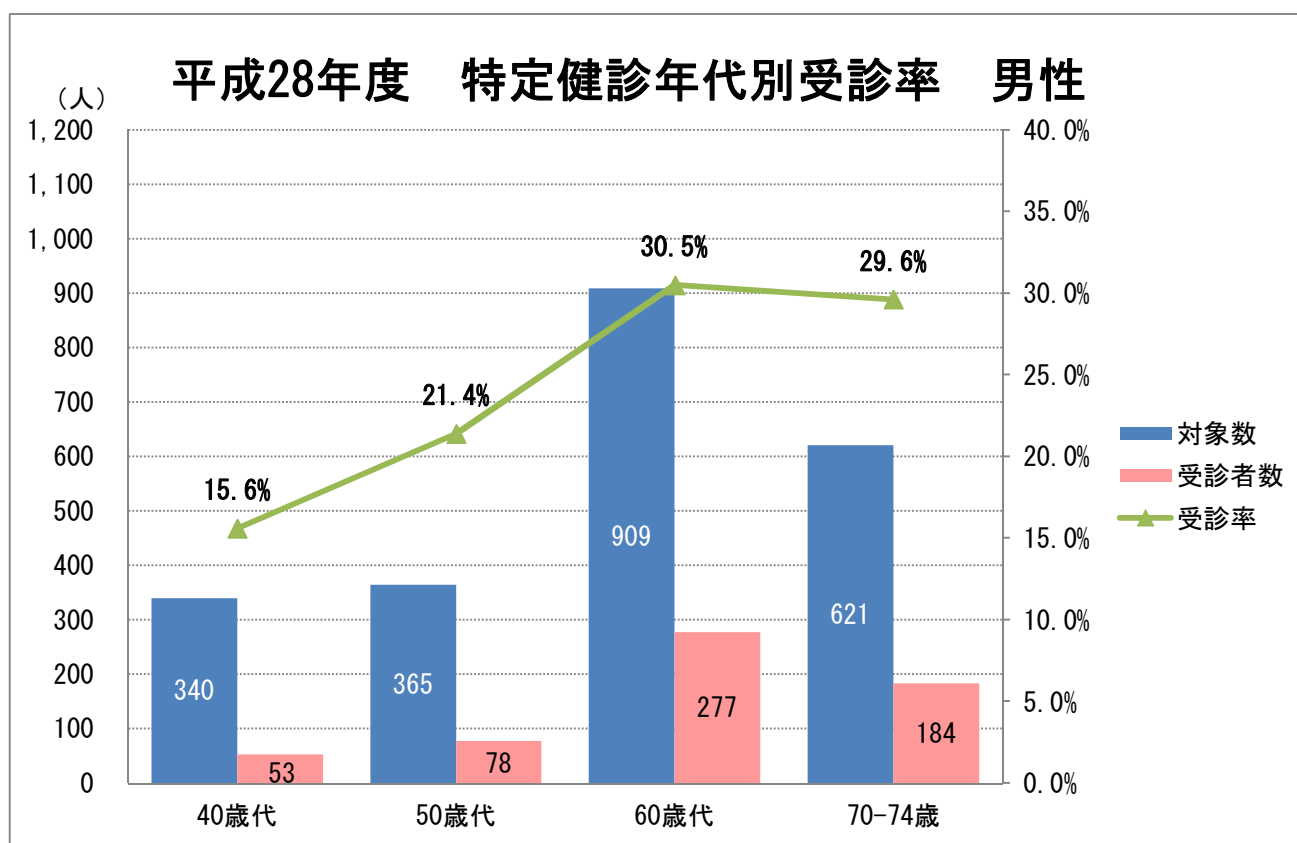
次頁に記載している性別、年代別受診率では、男女ともに 60 歳代と 70～74 歳の受診率が高く、特に女性の方が男性と比べて受診率が高いことが分かります。

幕別町国保特定健診の受診率

区 分			平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
幕別町	目標値	受 診 率	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%
	実績値	対象者数	5,373 人	5,174 人	5,038 人	4,858 人
		受診者数	1,337 人	1,330 人	1,395 人	1,411 人
		受 診 率	24.9%	25.7%	27.7%	29.0%
北海道		受 診 率	24.7%	26.1%	27.1%	27.6%

※ 各年度における法定報告数値





(2) 特定健診における有所見者の状況

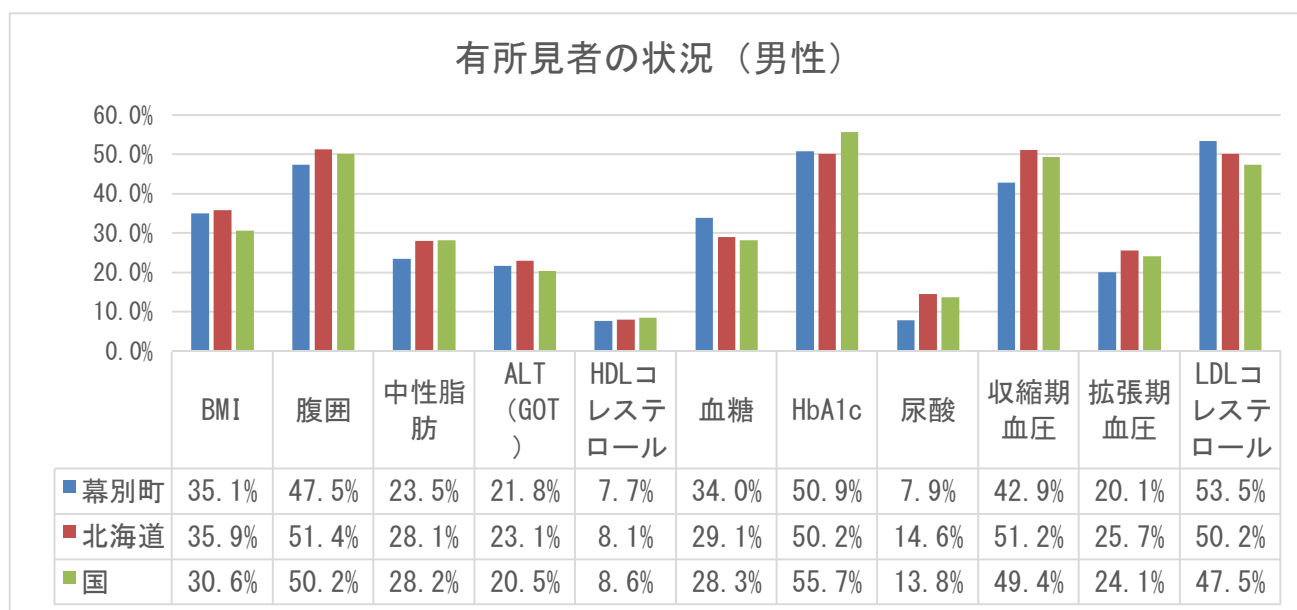
幕別町の国保特定健診受診者について、健診結果における有所見者の状況を男女別に国及び北海道と比較しました。

■ 有所見 11 項目における基準値と内容

項目	単位	基準値	内容
B M I	kg/m ²	18.5-24.9	身長と体重のバランスから、高値では体重が重すぎる肥満を表します。
腹囲	c m	男性 85 未満 女性 90 未満	内臓脂肪型肥満の有無を判断します。
中性脂肪	mg/dl	150 未満	糖質の摂りすぎなどで血液中の脂質が増えます。動脈硬化の原因です。
A L T (G O T)	U/L	30 以下	肝臓の機能を判断する値です。高値になると肝機能障害が疑われます。
H D L コレステロール	mg/dl	40 以上	善玉コレステロールと呼ばれ、低下すると動脈硬化が進みます。
血糖	mg/dl	100 未満	飲食の影響のない空腹時の血液中のブドウ糖の量です。糖尿病やすい臓病などで高値になります。
H b A 1 c	%	5.6 未満	過去 2 か月間の血糖値の平均がわかります。食べ過ぎなどで上がります。
尿酸	mg/dl	7.0 未満	血液中の尿酸の量です。高値が続くと痛風や尿路結石、腎障害の原因となります。
収縮期血圧	mm Hg	130 未満	最高血圧のことです。塩分の摂り過ぎなどで上がります。
拡張期血圧	mm Hg	85 未満	最低血圧のことです。
L D L コレステロール	mg/dl	120 未満	動物性油脂などの摂りすぎで血液中の脂質が増えます。動脈硬化の原因です。

① 男性における有所見者の状況

男性の有所見状況は、BMI、ALT（GOT）、血糖、LDLコレステロールが国より多く、肥満により肝機能や脂質代謝、血糖値に影響していることが分かります。

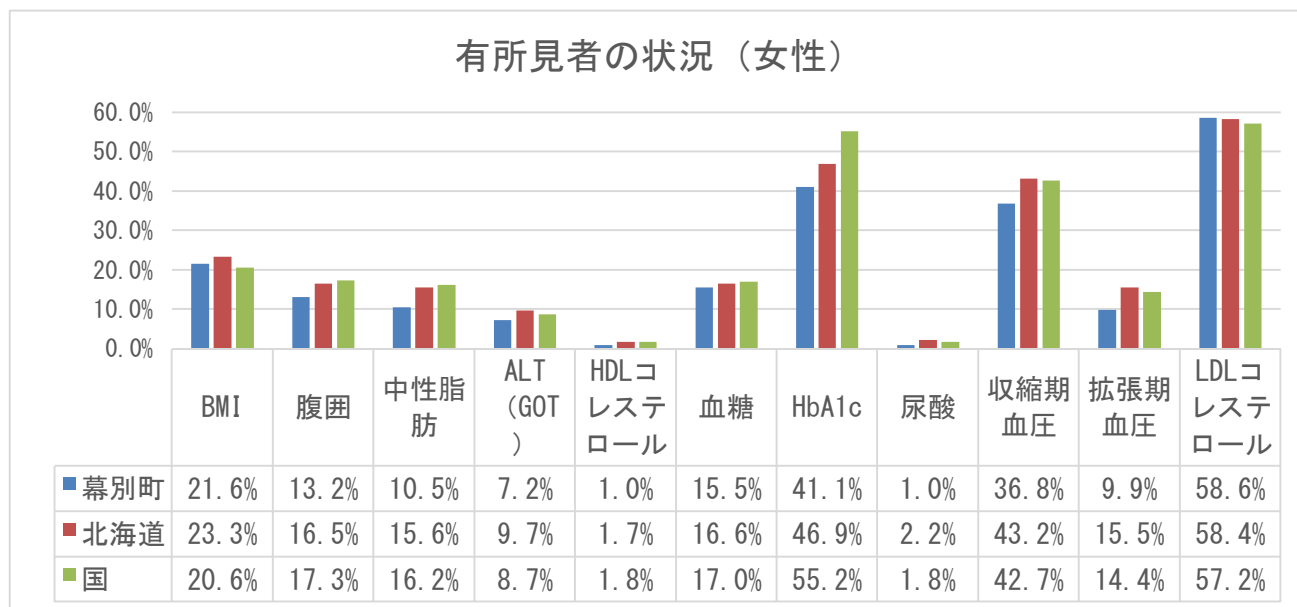


※KDB 厚生労働省様式6-2~7（平成28年度累計）

※上記数値は年齢調整後のもの（全国受診者数（男女別）を基準人口とした直接法による）

② 女性における有所見者の状況

女性の有所見状況は、BMI、LDLコレステロールが国より多く、肥満により脂質代謝に影響していることが分かります。



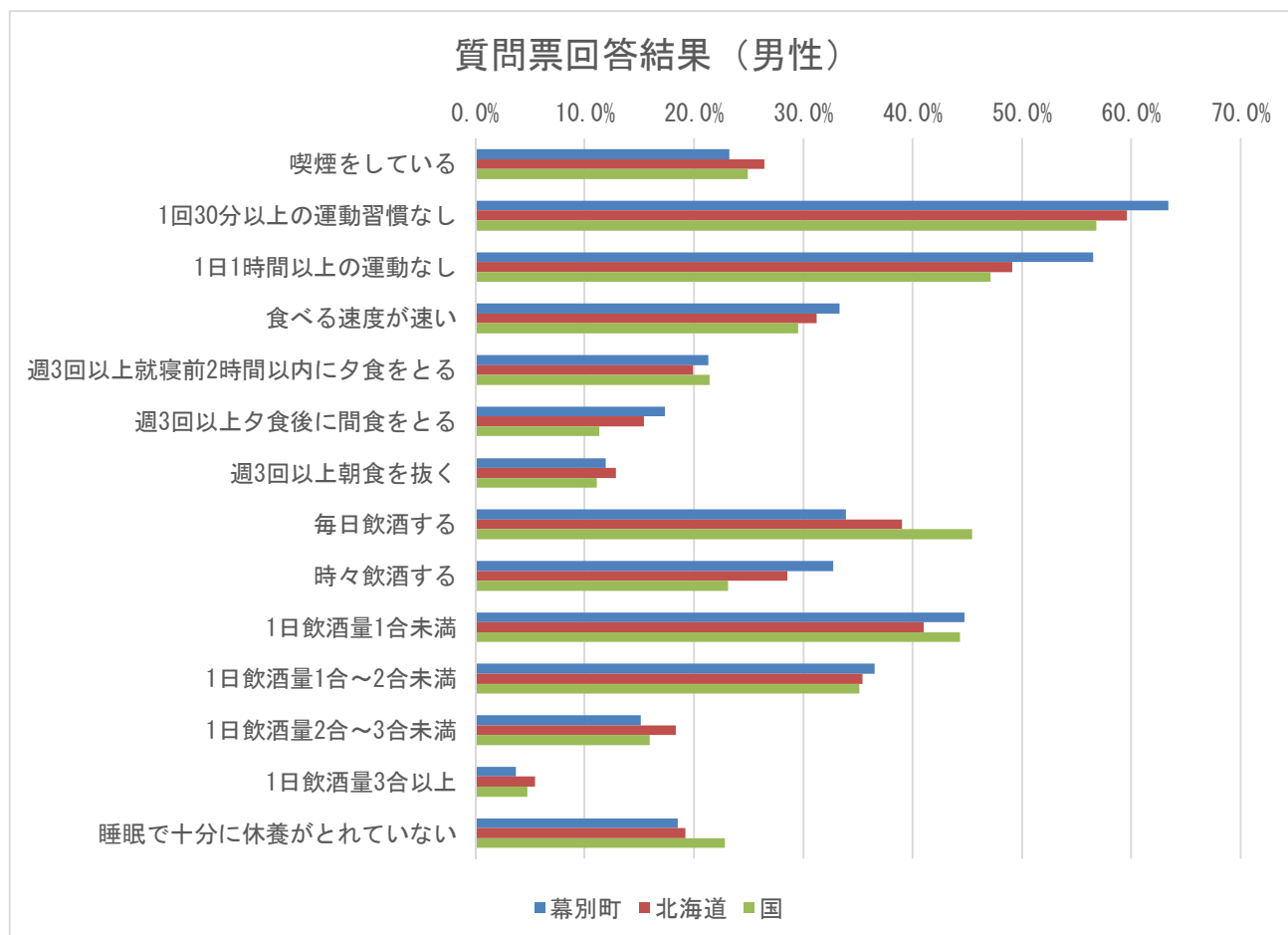
※KDB 厚生労働省様式6-2~7（平成28年度累計）

※上記数値は年齢調整後のもの（全国受診者数（男女別）を基準人口とした直接法による）

(3) 特定健診の質問票における回答結果の状況

国保の特定健診における質問票の回答結果を国と比較すると、次のことが分かります。

- ① 一日30分以上（1時間以上）の運動をしない人の割合が多い。
- ② 夕食後に間食をとることが、週3回以上ある人の割合が多い。

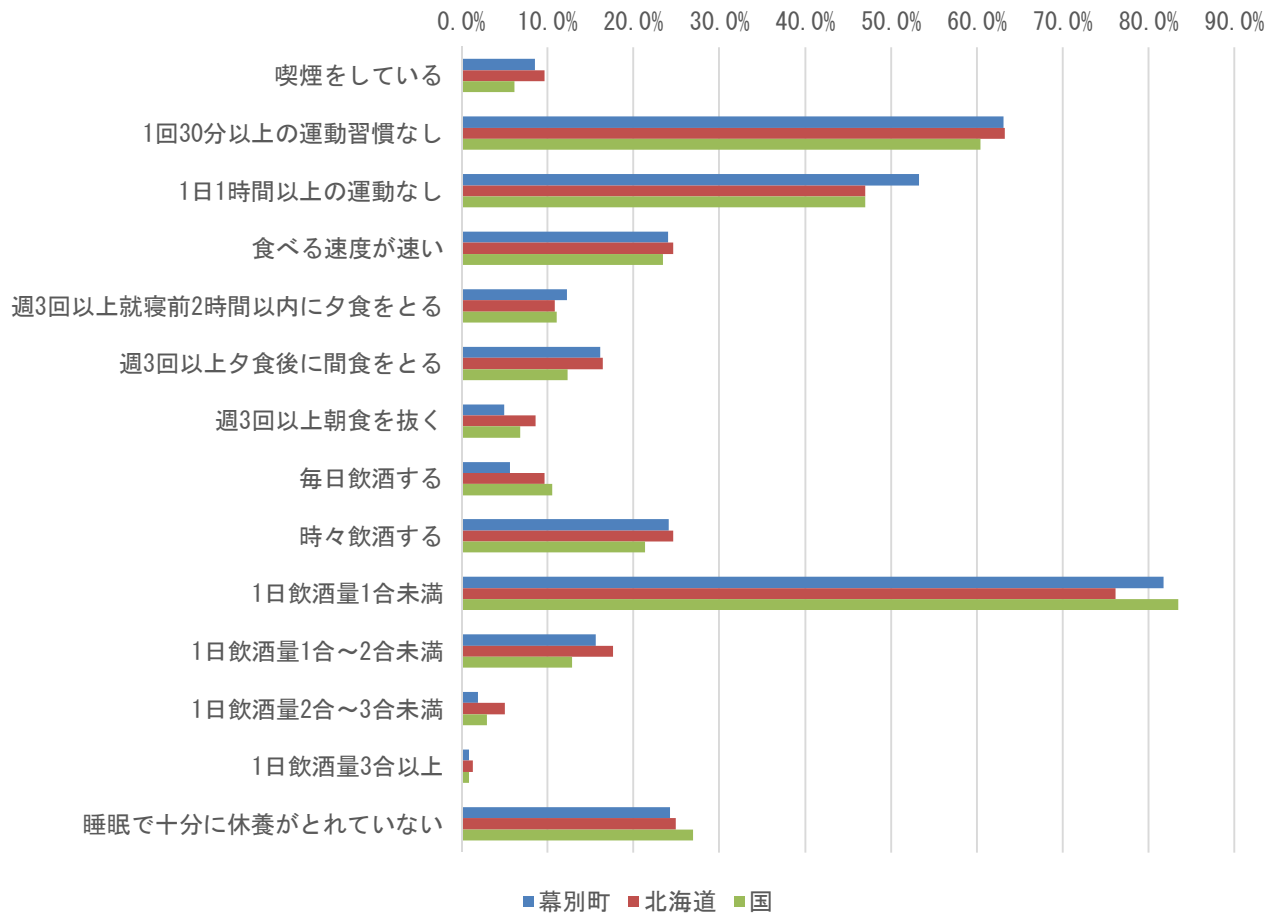


	調査項目	40～64歳			65～74歳			総数(40～74歳)		
		幕別町	北海道	国	幕別町	北海道	国	幕別町	北海道	国
男性	喫煙をしている	31.5%	36.7%	34.1%	18.8%	21.0%	20.0%	23.2%	26.4%	24.9%
	1回30分以上の運動習慣なし	79.4%	71.2%	68.8%	54.8%	53.4%	50.4%	63.4%	59.6%	56.8%
	1日1時間以上の運動なし	65.9%	54.0%	53.0%	51.5%	46.5%	43.9%	56.5%	49.1%	47.1%
	食べる速度が速い	35.0%	36.7%	35.7%	32.3%	28.3%	26.1%	33.3%	31.2%	29.5%
	週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる	26.4%	27.1%	29.5%	18.6%	16.0%	17.0%	21.3%	19.9%	21.4%
	週3回以上夕食後に間食をとる	21.0%	21.2%	16.1%	15.4%	12.3%	8.7%	17.3%	15.4%	11.3%
	週3回以上朝食を抜く	20.8%	22.2%	19.9%	7.0%	7.7%	6.3%	11.9%	12.8%	11.1%
	毎日飲酒する	32.8%	36.8%	43.2%	34.5%	40.1%	46.6%	33.9%	39.0%	45.4%
	時々飲酒する	33.1%	30.8%	24.9%	32.6%	27.3%	22.2%	32.7%	28.5%	23.1%
	1日飲酒量1合未満	37.4%	37.8%	40.2%	48.6%	42.7%	46.5%	44.7%	41.0%	44.3%
	1日飲酒量1合～2合未満	39.2%	32.3%	32.3%	35.1%	37.0%	36.7%	36.5%	35.4%	35.1%
	1日飲酒量2合～3合未満	17.2%	20.8%	19.3%	14.0%	16.9%	14.0%	15.1%	18.3%	15.9%
	1日飲酒量3合以上	6.2%	9.1%	8.1%	2.3%	3.4%	2.8%	3.7%	5.4%	4.7%
	睡眠で十分に休養がとれていない	21.6%	24.7%	29.0%	16.8%	16.3%	19.5%	18.5%	19.2%	22.8%

※KDB 質問票調査の状況（平成28年度累計）

※上記数値は年齢調整後のもの（全国受診者数（男女別）を基準人口とした直接法による）

質問票回答結果（女性）



	調査項目	40～64歳			65～74歳			総数(40～74歳)		
		幕別町	北海道	国	幕別町	北海道	国	幕別町	北海道	国
女性	喫煙をしている	14.5%	16.2%	10.5%	5.4%	6.2%	3.9%	8.5%	9.6%	6.1%
	1回30分以上の運動習慣なし	77.3%	74.5%	72.2%	55.7%	57.2%	54.1%	63.1%	63.2%	60.4%
	1日1時間以上の運動なし	58.9%	51.5%	51.9%	50.2%	44.7%	44.4%	53.2%	47.0%	47.0%
	食べる速度が速い	29.5%	26.2%	25.9%	21.1%	23.8%	22.0%	24.0%	24.6%	23.4%
	週3回以上就寝前2時間以内に夕食をとる	17.5%	14.7%	14.6%	9.4%	8.7%	9.0%	12.2%	10.8%	11.0%
	週3回以上夕食後に間食をとる	20.7%	21.5%	17.2%	13.7%	13.7%	9.8%	16.1%	16.4%	12.3%
	週3回以上朝食を抜く	7.0%	14.0%	11.6%	3.8%	5.8%	4.2%	4.9%	8.6%	6.8%
	毎日飲酒する	8.9%	14.4%	14.4%	3.9%	7.1%	8.5%	5.6%	9.6%	10.5%
	時々飲酒する	33.4%	28.6%	25.2%	19.3%	22.5%	19.3%	24.1%	24.6%	21.3%
	1日飲酒量1合未満	77.9%	66.9%	75.2%	84.0%	81.3%	88.2%	81.7%	76.1%	83.4%
	1日飲酒量1合～2合未満	16.4%	22.6%	17.9%	15.1%	14.8%	10.0%	15.6%	17.6%	12.8%
	1日飲酒量2合～3合未満	3.5%	7.9%	5.2%	1.0%	3.3%	1.6%	1.9%	5.0%	2.9%
	1日飲酒量3合以上	2.2%	2.6%	1.8%	0.0%	0.6%	0.3%	0.8%	1.3%	0.8%
	睡眠で十分に休養がとれていない	31.2%	29.1%	31.9%	20.5%	22.6%	24.3%	24.2%	24.9%	26.9%

※KDB 質問票調査の状況（平成28年度累計）

※上記数値は年齢調整後のもの（全国受診者数（男女別）を基準人口とした直接法による）

(4) 特定健診における未受診者の状況

平成 27 年度に実施した「幕別町特定健康診査受診者アンケート」では、未受診の理由として、「かかりつけ医で検査・治療等しているから」が 88.5%、「健診に伴う処置が苦痛だから」が 1.3%、「時間がないから」が 0.9%という回答結果でした。

回答内容	全体 (件)	割合 (%)	性別 (%)			年代 (%)					
			男	女	無 回答	40 -49	50 -59	60 -64	65 -69	70 -74	無 回答
かかりつけ医で検査・ 治療等しているから	199	88.5	86.4	90.0	100.0	100.0	75.0	81.0	92.4	87.0	100.0
健康だから	1	0.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
時間がないから	2	0.9	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0
健診に伴う処置が苦痛 だから	3	1.3	0.0	2.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	1.9	0.0
その他	20	8.9	12.6	5.8	0.0	0.0	12.5	9.5	7.6	10.2	0.0
計	225	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

さらに、定期的にかかっている病院として、「町内医療機関」と回答した方が 29.5%、次いで「厚生病院」が 14.0%、「北斗病院」が 9.8%の順となっています。

回答内容	全体 (件)	割合 (%)	性別 (%)			年代 (%)					
			男	女	無 回答	40 -49	50 -59	60 -64	65 -69	70 -74	無 回答
町内医療機関	36	29.5	32.3	26.7	0.0	0.0	0.0	41.7	30.2	29.5	0.0
厚生病院	17	14.0	12.9	15.0	0.0	0.0	0.0	16.7	7.0	19.7	0.0
北斗病院	12	9.8	11.3	8.3	0.0	33.3	0.0	8.3	9.3	9.8	0.0
勤医協帯広病院	7	5.7	6.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	8.2	0.0
協会病院	6	4.9	4.8	5.0	0.0	0.0	66.7	8.3	4.7	1.6	0.0
第一病院	3	2.5	3.2	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	1.6	0.0
国立病院	3	2.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	3.3	0.0
協立病院	2	1.6	1.6	1.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	1.6	0.0
その他医療機関	36	29.5	22.6	36.6	0.0	66.7	0.0	25.0	37.1	24.7	0.0
計	122	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0

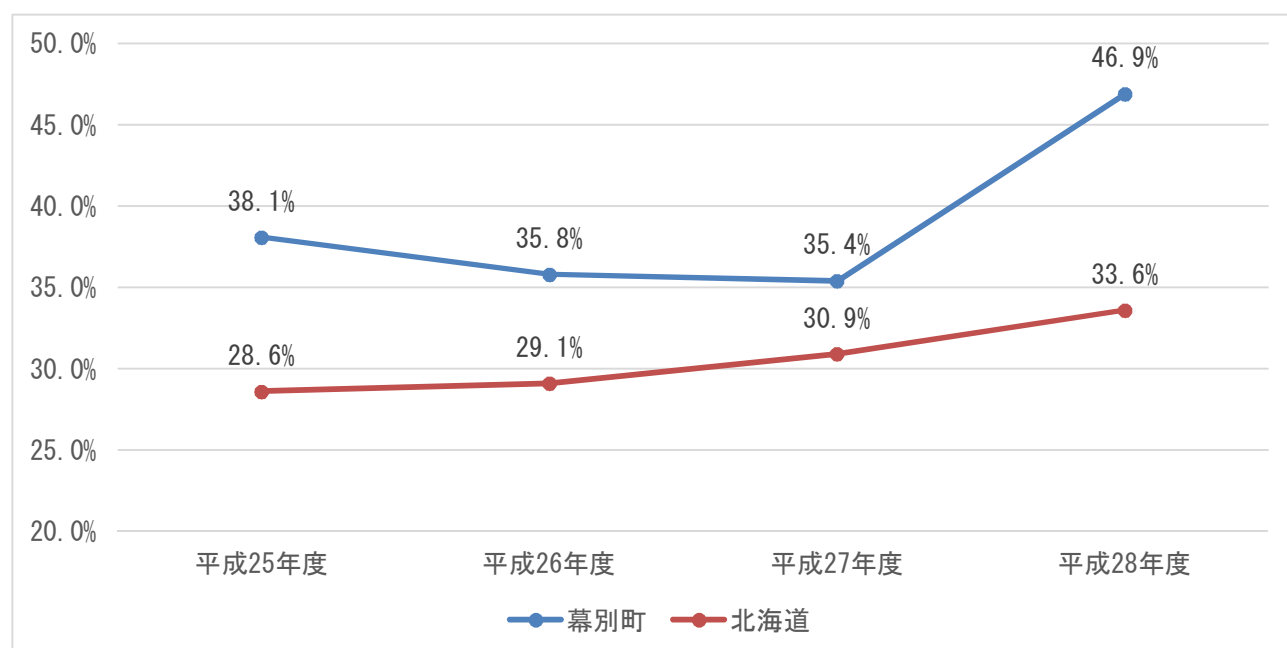
3 特定保健指導の状況

(1) 特定保健指導の実施率

幕別町国保における特定保健指導の実施率は、平成 28 年度で見ると 46.9%と高くなっていることが分かります。

40-74 歳	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
健診受診者	1,337	1,330	1,395	1,411
メタボ該当者数	164	176	165	190
メタボ予備群数	140	124	140	140
該当者予備群率	22.7%	22.6%	21.9%	23.4%
保健指導対象者数	147	137	161	147
保健指導利用者数	64	54	62	76
保健指導終了者数	56	49	57	69
保健指導対象率	11.0%	10.3%	11.5%	10.4%
保健指導利用率	43.5%	39.4%	38.5%	51.7%
保健指導実施率	38.1%	35.8%	35.4%	46.9%

※特定健診等データ管理システム T K C A 001 特定健診・特定保健指導実施結果報告



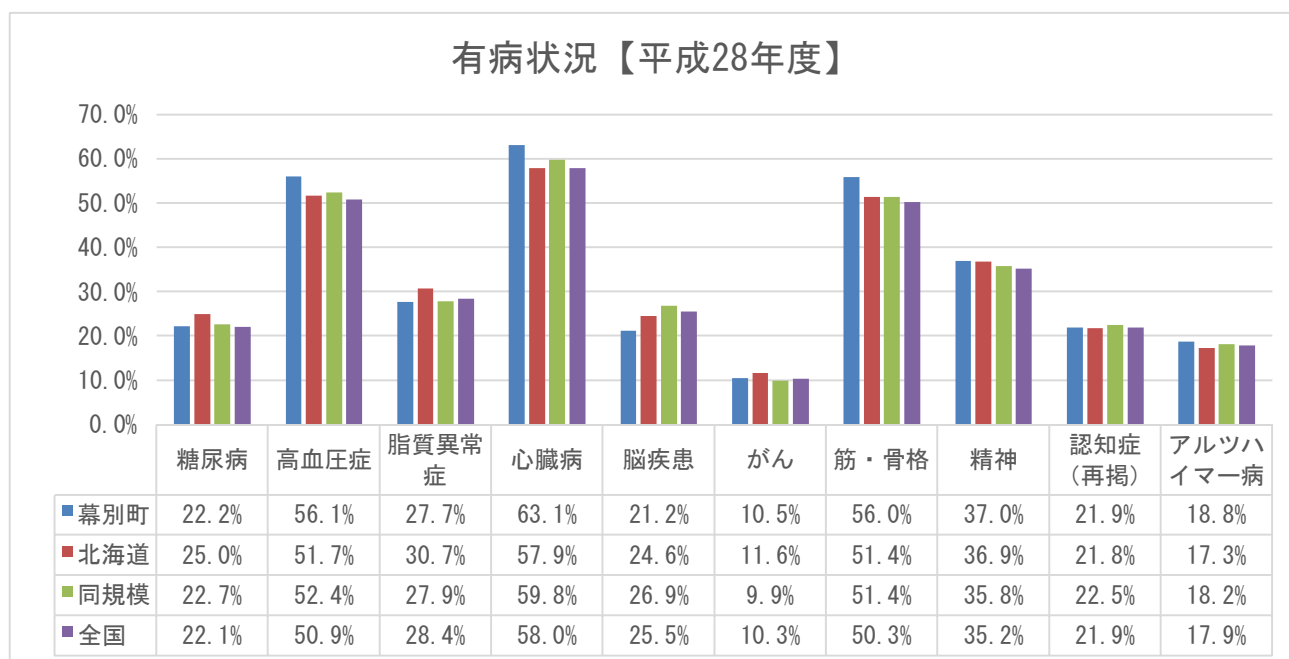
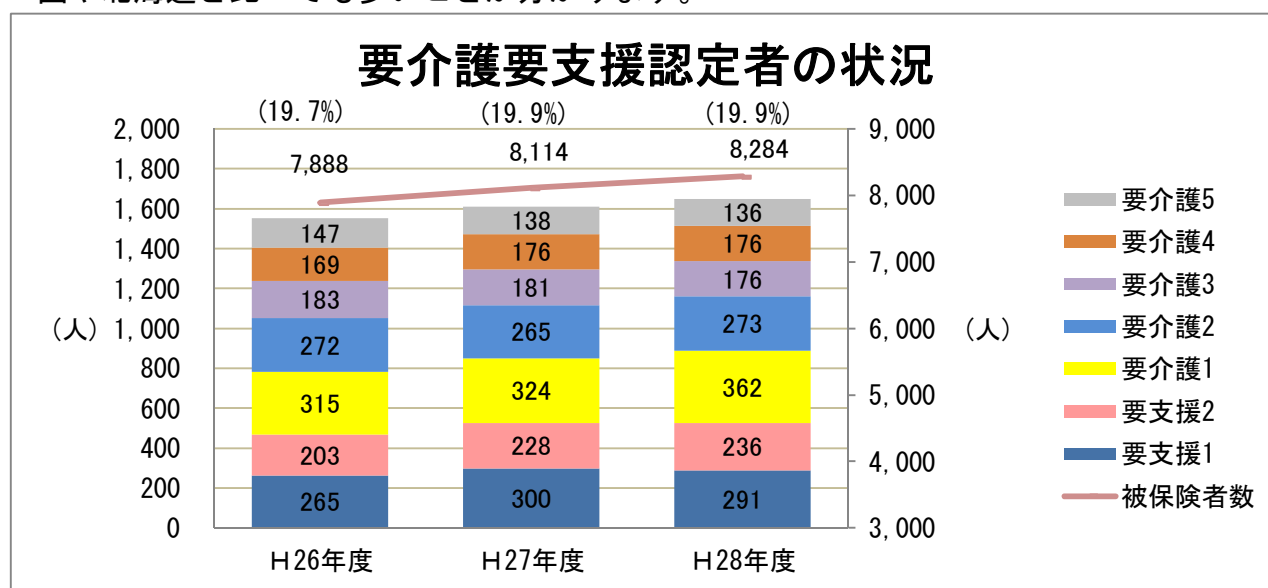
※ 各年度における法定報告数値

4 介護の状況

(1) 要介護認定状況及び有病者状況

幕別町の介護保険被保険者数は、平成 26 年度 7,888 人から平成 28 年度 8,284 人と 396 人が増加しており、そのうち要介護及び要支援の認定者については、平成 26 年度 1,554 人から平成 28 年度 1,650 人と 96 人が増加していますが、要介護及び要支援の認定率については横ばいとなっています。

また、要介護認定を受けている方の有病状況は、心臓病と高血圧症、筋・骨格等が、国や北海道と比べても多いことが分かります。



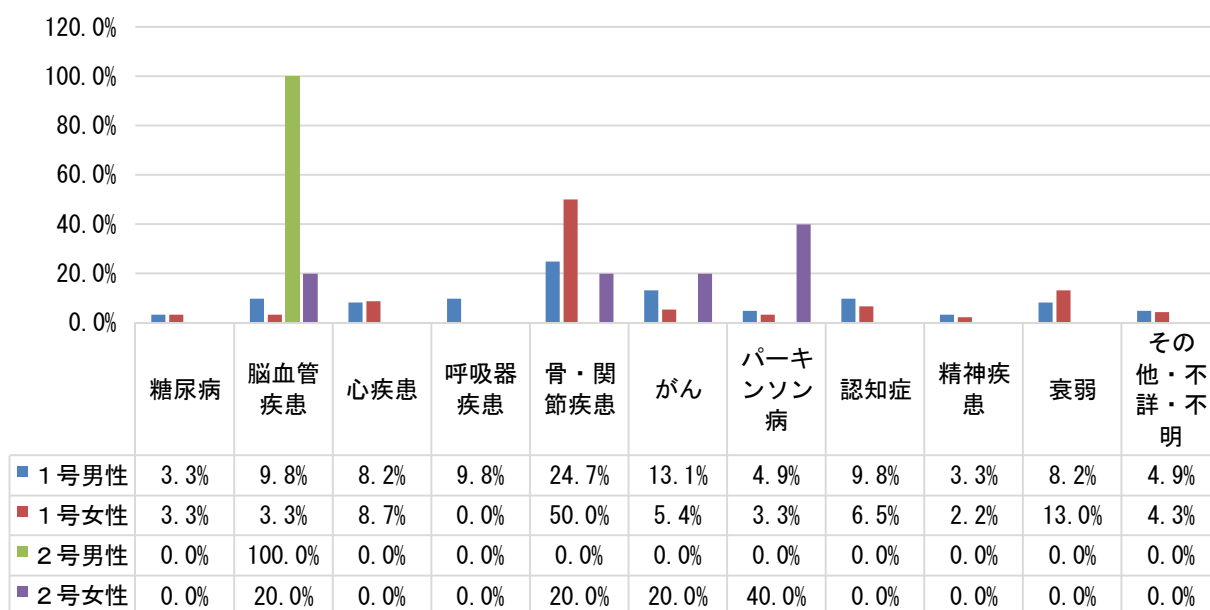
※KDB 地域の全体像の把握（平成 28 年度累計）

(2) 介護認定の原因疾患

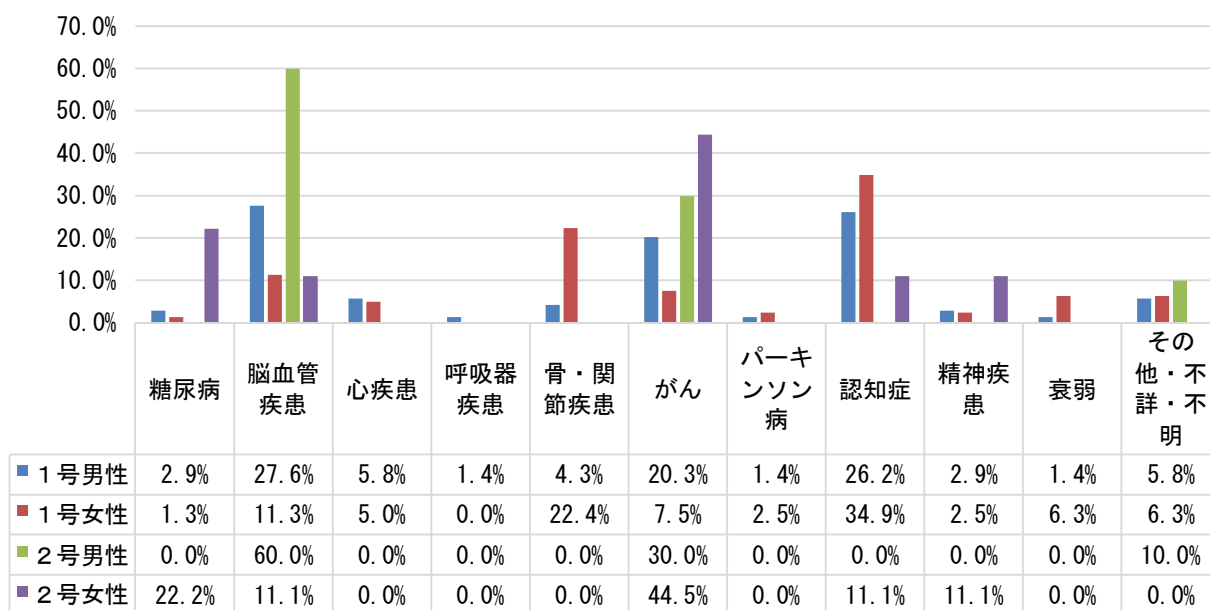
幕別町における要支援認定を受けた原因疾患は、1号被保険者の男性と女性で骨・関節疾患が多く、2号被保険者では、男性で脳血管疾患、女性はパーキンソン病が多いことが分かります。

また、要介護認定を受けた原因疾患は、1号被保険者では、男性で脳血管疾患、女性で認知症が多く、2号被保険者では、男性で脳血管疾患、女性でがんが多いことが分かります。

要支援認定原因疾患



要介護認定原因疾患



※幕別町調査

第3章 分析結果に基づく健康課題の把握

○ 生活習慣の特徴

特定健診を受診した方の質問票から、運動習慣がない方と夕食後に間食をとる方の割合が高く、肥満になりやすい生活習慣であることが分かりました。身近に取り入れやすい運動を紹介したり、間食のとり方の適量を理解してもらう取組が必要です。

○ 健診の特徴

所見ではBMI 25以上の肥満の状況が高いことが分かりました。しかしながら、特定健診を受診した方は健診対象者の3分の1に満たないため、幕別町の特徴を十分に把握・分析できたとは言い難い状況となっています。今後、さらに受診率を向上させることで、幕別町の現状をより詳細に把握する必要があります。また、運動不足や間食などによる肥満が生活習慣病に影響することを広く知ってもらう対策が必要です。

○ 医療の特徴

生活習慣病の基礎疾患では、糖尿病の総医療費が最も高くなっている一方で、高血圧症のレセプト件数が最も多くなっています。また、重症化疾患では腎不全の1件当たりの医療費が最も高くなっています。高血圧症や糖尿病は動脈硬化を進め、重症化することで腎不全など更なる医療費への影響が大きくなります。よって、高血圧症や糖尿病の発症を予防することと同時に、これらの基礎疾患が重症化する前にしっかりと重症化予防対策に取り組むことが必要です。

○ 介護の特徴

要介護認定を受ける原因疾患として脳血管疾患が多く、特に2号被保険者においてはその割合が高い状況となっています。脳血管疾患は主に動脈硬化が原因となり、その基礎疾患は高血圧症と糖尿病が多くなっています。幕別町の介護を受けている方の有病率でも、心臓病と高血圧症が多くなっていることが分かります。介護予防の観点からも高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防が必要です。

幕別町国保健康課題

- 特定健診の受診率が低く、課題の分析には把握が不十分
- 肥満者の割合が高く、高血圧症や糖尿病の発症につながる
- 高血圧症や糖尿病が重症化することで更なる医療費への影響が大きくなる

第4章 目標

1 長期的な目標

高血圧症や糖尿病の発症を抑え、また悪化させず、人工透析導入や脳血管疾患での治療や要介護状態になることを減らします。

2 短期的な目標

【課題】 特定健診の受診率が低く、課題の分析には把握が不十分

目標1 特定健診受診率の向上

指標	年度	目標
特定健診受診率 (法定報告値)	平成30年度	35%
	平成31年度	40%
	平成32年度	45%
	平成33年度	50%
	平成34年度	55%
	平成35年度	60%

【課題】 肥満者の割合が高く、高血圧症や糖尿病の発症につながる

目標2 BMI25以上の肥満者の減少

指標	年度	目標
特定健診結果における BMI25以上の率	平成30年度	男性 35.0% 女性 22.0%
	平成31年度	男性 34.0% 女性 22.0%
	平成32年度	男性 33.0% 女性 21.0%
	平成33年度	男性 32.0% 女性 20.0%
	平成34年度	男性 31.0% 女性 19.0%
	平成35年度	男性 30.0% 女性 18.0%

目標 3 特定保健指導対象者の減少

指標	年度	目標
特定保健指導対象率	平成 30 年度から 平成 35 年度まで	10.0%

【課題】 高血圧症や糖尿病が重症化することで更なる医療費への影響が大きくなる

目標 4 医療費適正化等の促進

指標	年度	目標
糖尿病性腎症による 人工透析新規導入者	平成 30 年度から 平成 35 年度まで	0 人

第5章 保健事業の実施内容

課題に対応した保健事業の取組として、次のとおり整理します。

1 特定健診受診率の向上に向けた取組

（目的）

受診率を向上させることで、生活習慣病等の未然防止、早期発見及び早期治療により重症化を予防するとともに、被保険者の健康状態を把握することで、幕別町における健康課題をより詳細に分析し、効果的で実効性のある取組を推進する。

（取組内容）

- 未受診者や不定期受診者への受診勧奨の強化
 - ・過去の受診歴や健診結果、質問票の内容等を分析することで、個人の特性に合わせた効果的な受診勧奨の実施
 - ・治療中を理由とした未受診者に対する受診勧奨の強化
- まくべつ健康フェスタによるPR等、特定健診の更なる周知を実施
- 受診しやすい環境づくりを含めた特定健診のあり方の検討

2 BMI 25以上の肥満者を男性 30%、女性 18%に減少させる取組

（目的）

予防可能な生活習慣病の温床である肥満を解消するため、住民の健康意識を高めるとともに、肥満解消に取り組める環境づくりを行う。

（取組内容）

- 健康づくり講座での運動習慣の定着を促進
- 運動を継続的に行える場を提供するため、関係部局との連携した取組を実施
- 健康教育や健康相談、家庭訪問による栄養指導を実施

3 特定保健指導対象率を 10.0%に減少させる取組

(目的)

メタボリックやメタボリック予備群に該当する方にかかわってメタボ解消をしていく。

(取組内容)

- 結果説明会において効果を実感できる特定保健指導を実施
- 特定保健指導の未利用者の意向を確認し、利用しやすい体制を構築

4 医療費の適正化等に向けた取組

(目的)

年々、増加傾向にある医療費の適正化等を推進するための基盤と体制づくりの構築に向けた取組を促進する。

(取組内容)

- まくべつ健康ポイントラリーによる健診受診や健康づくり講座の参加促進
- 医療費通知の継続実施
- ジェネリック医薬品の使用促進と医療費削減効果の分析
- 重複・頻回受診者の実態把握と保健指導体制の確立
- 糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施体制の確立

■ 課題に対応した保健事業

目標	保健事業	事業概要	対象者	実施年度
目標 1 特定健診受診率の向上	未受診者や不定期受診者への受診勧奨の強化	過去の受診歴や健診結果、質問票の内容等进行分析することで、個人の特性に合わせた受診勧奨通知や電話勧奨、家庭訪問勧奨を実施	特定健診対象者のうち未受診者または毎年継続して受診していない方	新規
		医療機関との連携を図り、治療中を理由とした未受診者への勧奨を強化		継続
	特定健診の周知	広報やホームページへの掲載、受診券同封のリーフレット等で特定健診の意義と受診方法を周知、新聞折り込みチラシ等の配布、商業施設等へのポスター掲示、まくべつ健康フェスタを通して健康意識の醸成と特定健診のPR	全町民	継続
目標 2 BMI 25 以上の肥満者の減少	健康づくり講座	運動のきっかけをつくり運動習慣定着を図るために、まくべつ健康ポイントラリーによる健康づくり講座への参加を促進	対象年齢の町民	拡充
	関係部局との連携による運動機会の提供	体育施設や生涯学習施設等と連携し運動を継続的に取り組む機会の提供	全町民	継続
	栄養指導	健康相談や家庭訪問による食習慣の振り返りやバランス食の栄養指導	全町民	継続
目標 3 特定保健指導対象者の減少	特定保健指導の未利用者対策	特定保健指導未利用者の意向を家庭訪問や電話等で確認し内容や実施体制を構築	特定健診受診者のうち、特定保健指導基準の該当者	H30 年度
目標 4 医療費適正化等の促進	まくべつ健康ポイントラリー	ポイント達成によりインセンティブを付与し、健診受診や健康づくり講座の参加を促進	20 歳以上の町民	継続
	医療費通知の送付	医療費や健康意識への関心を高めることを目的に個別に通知	全被保険者	継続
	ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品を使用した場合の差額通知を送付するとともに、通知後の追跡及び分析による医療費削減効果等を分析	全被保険者	継続
	がん検診	がんの早期発見及び早期治療を目的とした検診を実施	対象年齢の町民	継続
	人間ドック事業	人間ドックの費用の一部を助成	40 歳以上の町民	継続
	脳ドック事業	脳ドックの費用の一部を助成	40 歳以上の町民	継続
	重複・頻回受診対策	重複・頻回受診者に家庭訪問等で受診状況の確認と適正受診指導を実施	該当者	H31 年度
	糖尿病性腎症重症化予防プログラム対策	血糖値等が基準より高値の未治療者や治療中断者に家庭訪問等で受診勧奨し主治医との連携による療養指導を実施	該当者	H30 年度

第6章 計画の評価・見直し・公表等

1 計画の評価方法

この計画において位置づけた課題に対応した保健事業の取組について、次のとおり評価指標及び評価時期等を設定し、評価を行います。

■ 保健事業の評価設定

目標	保健事業	評価指標	評価時期	現状	目標値
目標1 特定健診受診率の向上	特定健診	特定健診受診率 (法定報告値)	平成35年度	29.0% (H28年度)	60%
目標2 BMI 25以上の肥満者の減少	健康づくり講座	参加者数	平成35年度	247人 (H28年度)	300人
	特定健診	健診結果 BMI 25以上の率	平成35年度	男性 35.1% 女性 21.6% (H28年度)	男性 30% 女性 18%
目標3 特定保健指導対象者の減少	特定保健指導	特定保健指導の対象率	平成35年度	10.4% (H28年度)	10.0%
	特定保健指導 未利用者対策	特定保健指導の実施率	平成35年度	46.9% (H28年度)	60%
目標4 医療費適正化等の促進	重複・頻回受診対策	保健指導の実施者数	平成35年度	未実施	該当者に対して実施
	糖尿病性腎症重症化予防 プログラム対策	糖尿病性腎症による人工 透析新規導入者	平成35年度	10人 (H26～H28年度)	0人

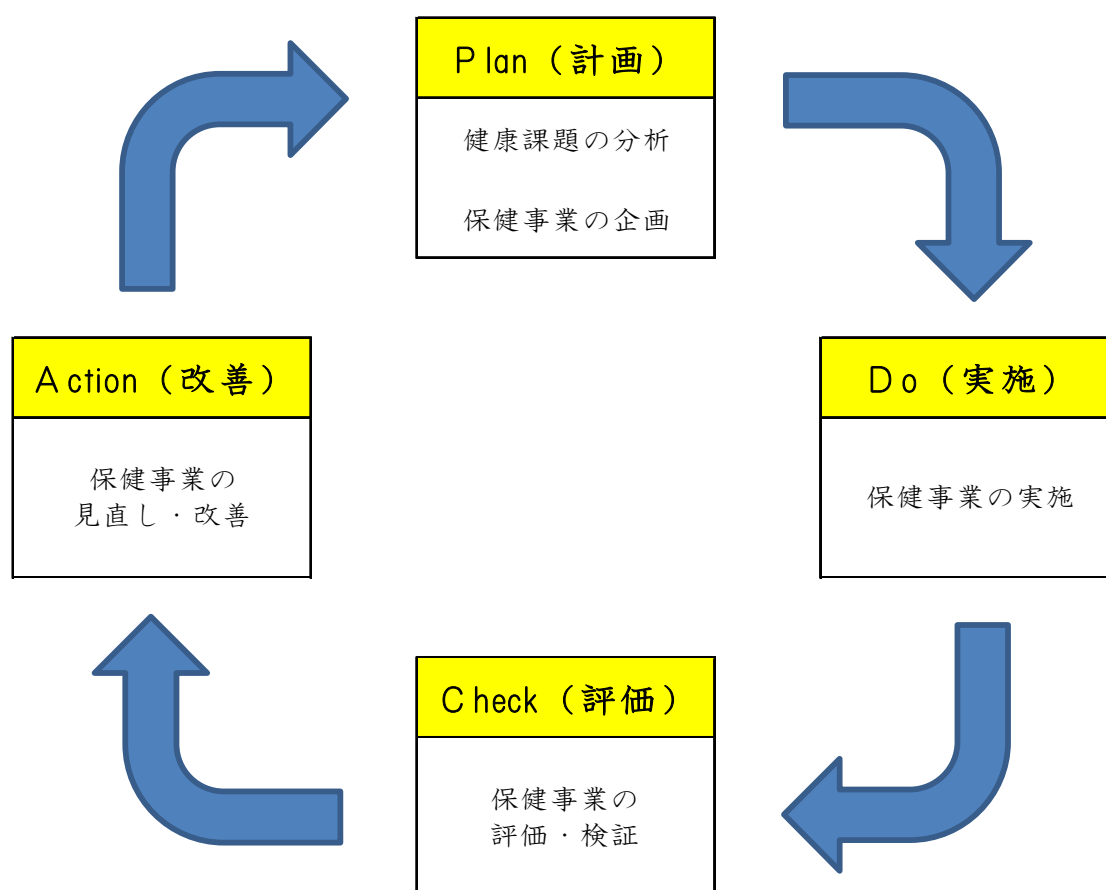
2 計画の見直し

この計画については、PDCAサイクル（下図）に沿って実施するものであり、現状の把握と分析から計画を立て、平成30年度から取組を進めます。

計画の推進にあたっては、具体的な事業の実施（Do）を通して、実施結果を検証（Check）し、新たな課題の把握と分析を行い、保健事業の評価指標に基づいてより効果的かつ実効性のある対策を立案（Action）します。

その結果を計画（Plan）に結びつけて、実施内容及び目標設定へとつなげて展開します。

これまでの取組を踏まえ、医療データや健診データ等を活用し、継続的な効果検証を行うことで、単年度ごとの見直しを実施します。



3 計画の公表・周知

この計画については、保健事業実施指針に基づき、公表及び周知します。

公表及び周知の方法は、幕別町のホームページへの掲載等により行います。

第 7 章 事業運営上の留意事項

1 事業運営上の留意点

保健事業実施指針に基づき、この計画の内容については、関係部署及び関係機関との連携を図りながら、保健事業の実施にあたります。

特定保健指導をはじめ、特定健診事後指導等に伴う生活習慣病の予防の取組にあたっては、実施を担う担当課と課題や評価についての共有を図り、事業を推進していきます。

また、「まくべつ健康 21（第 2 期）」や「幕別町国民健康保険第 3 期特定健康診査等実施計画」との整合性を図りながら、連携した事業の実施にあたります。

その他、健康課題の解決に欠かせない医療機関との連携、生活習慣病の合併症を原因疾患とした要介護状態の予防の観点から、介護保険による実施事業との連携、さらには、地域住民のインフォーマルな活動（町内会活動など）とも協働して取り組めるよう、関係部署とともに保健活動を推進する体制を整備しながら事業を運営します。

2 個人情報の保護

幕別町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）の作成、事業実施及び評価等の取組における個人情報の取扱いについては、幕別町個人情報保護条例（平成 11 年条例第 32 号）、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）及びこれに基づくガイドライン「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（平成 17 年 4 月 1 日厚生労働省）を遵守するものとし、適正な管理に努めます。

3 地域包括ケアに関する取り組み

本計画の 28 ページから介護の状況について分析しており、要介護認定を受ける原因疾患として、脳血管疾患の割合が高いことが分かります。脳血管疾患は、主に動脈硬化が原因でその基礎疾患は高血圧症と糖尿病が多くなっています。また、要介護認定を受けている方の有病状況は、心臓病と高血圧症の割合が高いことが分かります。介護予防の観点からも高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防が必要です。

幕別町国保では、平成 29 年 3 月 31 日現在の 65 歳以上の被保険者の割合は 41.5% と高く、年齢階層別 1 人当たり医療費でも、特に 65 歳以上の被保険者の医療費が入院・入院外ともに最も高くなっていることが分かります。

このような状況から、高齢者が地域で元気に暮らし、医療サービスをできるだけ必要としないようにするための対策は、国保にとっても町全体にとっても非常に重要な課題であると言えます。

そのため、地域包括支援センター等と連携し、高齢者の暮らし全般を支える上で直面する課題などについての議論に国保保険者として参加するとともに、医療・介護・保健・福祉など各種サービスが相まって高齢者を支える「地域包括ケア」を構築し、関係部局が連携した取り組みを実施していきたいと考えます。

発 編	行 集	幕別町 住民福祉部住民生活課国保医療係 (電話) 0155-54-6602 住民福祉部保健課健康推進係 (電話) 0155-54-3811
ホームページ		http://www.town.makubetsu.lg.jp/